

小田原市の概要

平成 22 年 6 月 28 日現在

目次

I 本市の社会情勢	p 3
1 市の概要	
2 人口・世帯数の推移	
(1) 総人口・世帯数の推移	
(2) 年齢別人口の推移	
(3) 世帯家族類型別世帯数の推移	
(4) 児童・生徒数の推移	
II 農業の状況について	p 7
1 経営耕地面積の推移	
2 農家数の推移	
3 平成 18～19 年小田原農産物栽培状況	
4 作物別作付(栽培)面積上位 10 品目(平成 17 年2月1日)	
5 市民農園の推移	
III 漁業の状況について	p 9
1 経営組織別経営体数の推移	
2 小田原市公設水産地方卸売市場での主な取扱数量	
3 平成 20 年年度水揚げ量と水揚げ金額ベスト5	
4 地元漁業種類別水揚状況	
IV 市民の健康について	p 12
1 人口動態統計	
(1) 出生	
(2) 死亡	
(3) 乳児死亡	
(4) 死産	
(5) 周産期死亡	
(6) 結婚	
(7) 離婚	
2 乳幼児・児童・生徒の肥満の状況	
(1) 1歳6か月健診の肥満率の推移	
(2) 3歳健康診査の肥満率の推移	
(3) 小学生の肥満率の推移	
(4) 中学生の肥満率の推移	

3 乳幼児・児童・生徒のう歯の状況	
(1) 1歳6ヶ月健康診査・3歳児健康診査のう歯の罹患率の推移	
(2) 小学生・中学生のう歯の罹患率の推移	
4 妊娠中の健康状態	
(1) 貧血の状況	
(2) 妊娠中毒症の状況	
5 平成20年度特定健康診査の状況	
(1) 受診率の状況	
(2) 有所見者の状況	
6 国民健康保険の状況	
(1) 疾病分類(121分類)からみた受診件数上位20項目(平成19年5月診療分)	
(2) 高血圧疾患での受診割合が高い市	
(3) 骨粗しょう症での受診割合の高い市	
V 小・中学校の状況	p 25
1 栄養教諭・学校栄養職員配置状況	
2 給食の地場産利用状況	
3 米飯教職実施状況	
4 学校給食における県内地場産品(生鮮食料品)使用率	
VI 食生活状況	p 28
1 平成21年度全国学力・学習状況調査結果	
2 平成21年度特定健康診査票・質問項目からみる食の行動	
VII 「小田原市 健康と食に関する意識調査」結果	p 30

Ⅰ 本市の社会情勢

1 市の概要

本市は、神奈川県西部に位置し、市域は、東西 17.5km・南北 16.9km で、南西部は真鶴町・湯河原町・箱根町と、北部は南足柄市・開成町・大井町と東部は中井町・二宮町とそれぞれ接しています。また、市域の南西部は、大部分が箱根連山につながる山地で、東部は大磯丘陵につながる丘陵地帯となっています。中央部は、酒匂川が南北に貫通して足柄平野を形成し、南は相模湾に面しています。

面積は、114.06 k m²で、神奈川県の面積の 4.7%を占め、県内の自治体としては、横浜市、相模原市、山北町、川崎市に次いで 5 番目の広さを有しています。

生活圏としては、鉄道 5 路線が集中する小田原周辺に近隣都市を商圏とする商業が古くから集積する一方、鴨宮を中心とした、川東地区に複数の郊外型大規模商業施設が進出しています。

人口は市政施行の当時（昭和 15 年）に 54,699 人であり、その後平成 7 年に 20 万人を突破しました。近年は、平成 11 年をピークに人口が若干減少しており、平成 22 年 3 月現在で人口 198,390 人、世帯数 78,141 世帯となっています。

【小田原市の概要】

①面積

- ・ 114.06 k m²（東西 17.5km・南北 16.9km）

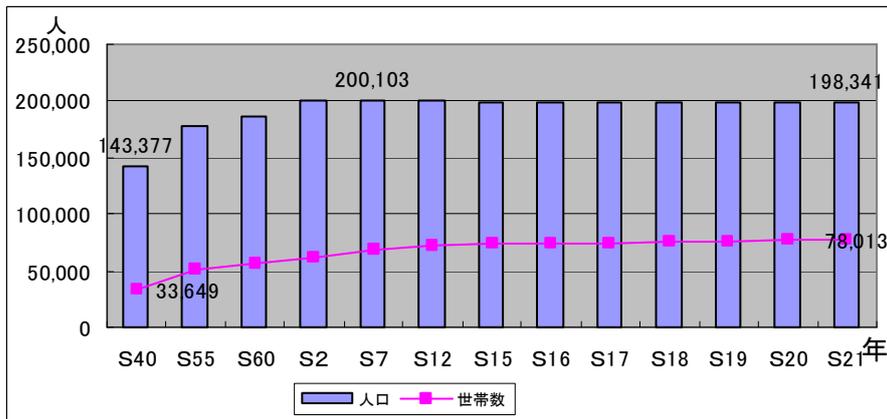
②人口

- ・ 198,390 人（男 97,304 人、女 101,086 人、78,141 世帯（平成 22 年 3 月 I 日現在）
- ・ 昼間人口：194,562 人、昼間人口比率 98.0%（平成 17 年度国勢調査）
- ・ 流出人口：39,817 人、流入人口：35,985 人（平成 17 年度国勢調査）

2 人口・世帯数等の推移

(1)総人口・世帯数の推移

総人口の推移については、昭和 40 年の 143,377 人から、平成 20 年度には、198,698 人となり、昭和 43 年間で約 1.4 倍、約 5.5 万人が増加しています。世帯数も同様に昭和 40 年に 33,649 世帯から、平成 20 年に 77,266 世帯となり、約 2.3 倍増加しています。なお、近年においては、平成 7 年に人口が 20 万人に達して以降、若干の減少傾向で推しています。



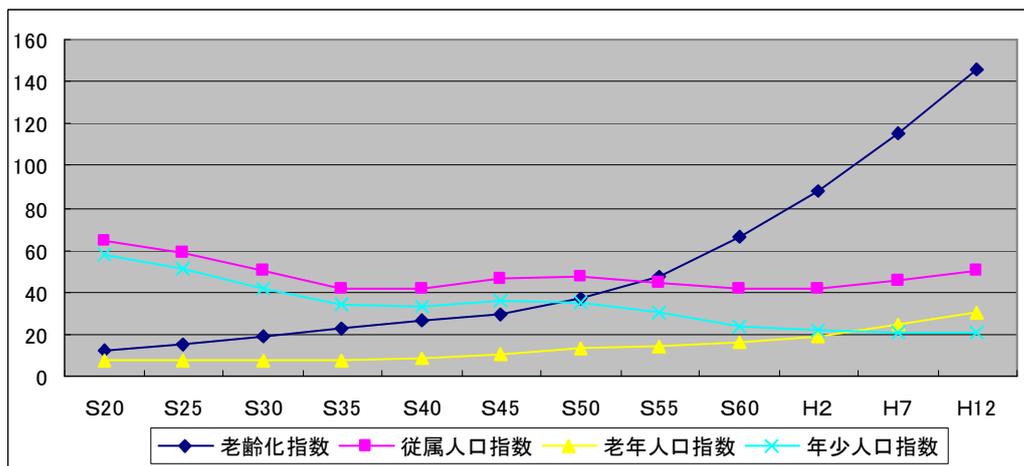
資料：小田原市統計要覧各年 10月1日

(2)年齢別人口の推移

昭和60年と平成17年の男女年齢5歳ごとの人口を比較してみると、少子高齢化の進行が顕著に現れています。また、従属人口指数（生産年齢（15～64歳）人口に対する従属人口（年少（0～14歳）人口と老人（65歳以上）人口）の比率）が増加しており、将来的な社会的扶養負担の増加が危惧されます。

さらに、5歳ごとの年齢別人口の推移でみると、10～19歳では男女とも概ね増加傾向ですが、勢いは衰えつつあり、一方、25歳以降では、男女とも人口が減少傾向にあります。また、近年においては、30～39歳においても人口減少がみられます。一方、40歳以上では、概ね安定している傾向があります。

○ 年齢構造指数の推移



資料：国政調査

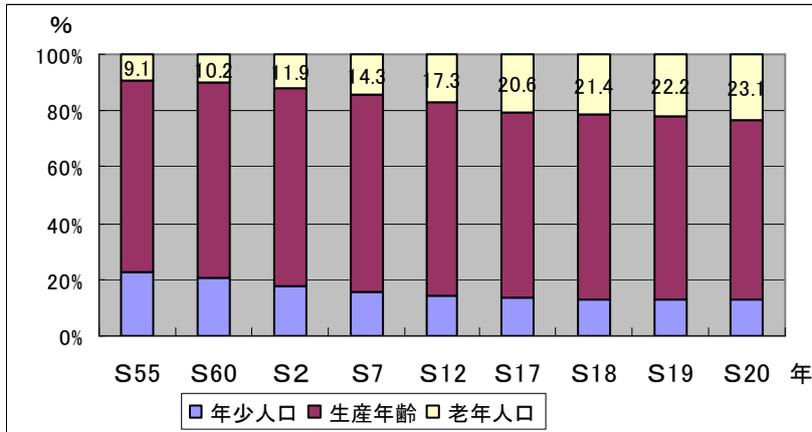
* 年少人口指数 = 年少人口 ÷ 生産年齢人口 × 100

* 老年人口指数 = 老年人口 ÷ 生産年齢人口 × 100

* 従属人口指数 = 年少人口指数 + 老年人口指数

* 老年化指数 = 老年人口 ÷ 年少人口 × 100

○ 年齢別人口（3区分）の推移



年少人口：15歳未満

生産年齢：15～64歳

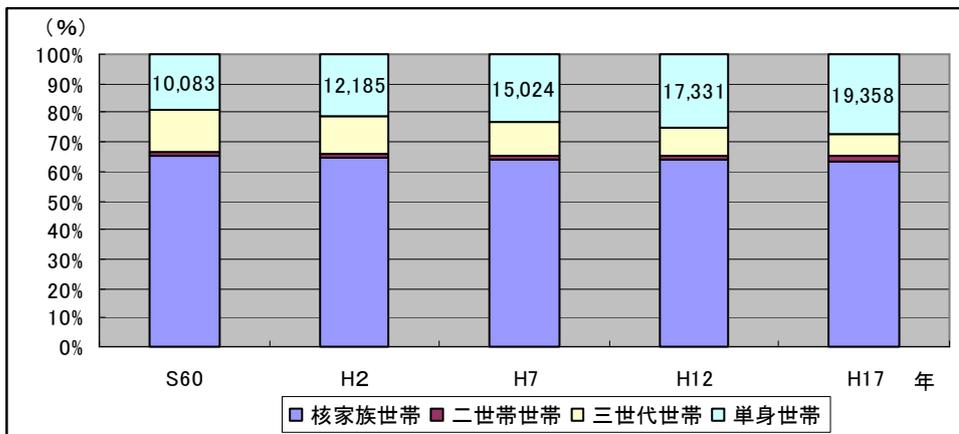
老年人口：65歳以上

資料：神奈川県年齢別人口統計調査結果

(3) 世帯家族類型別世帯数の推移

世帯の状況では、世帯数の増加が人口の増加を上回っており、平均世帯人員は年々減少しています。

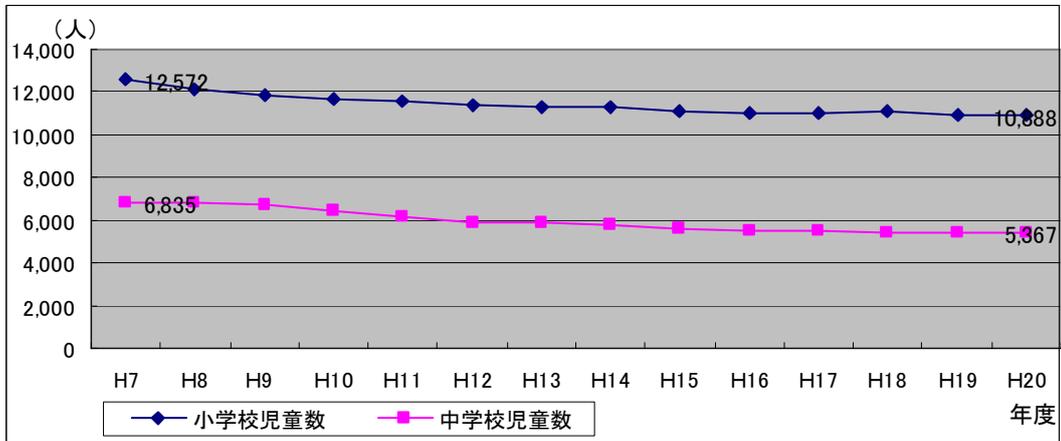
世帯家族類型別世帯数をみると、「各家族世帯」、「単独世帯」の増加が顕著ですが、夫婦子どもと両親あるいはひとり親とでなる、いわゆる「三世代世帯」は減少しており、核家族化が進行しています。



資料：国勢調査

(4)児童・生徒数の推移

市立小学校の児童数及び中学校の生徒数の推移では、全体として児童数・生徒数とも経年的に減少しています。平成7年～平成20年の間で、児童数葉1,684人（約13%）、生徒数は、1,468人（約21%）の現象がみられます。



資料：小田原市統計要覧

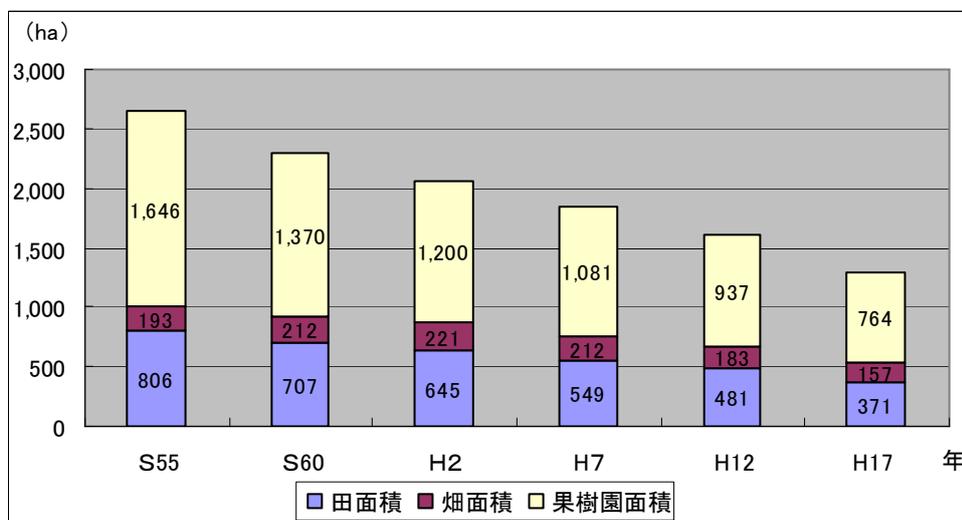
II 農業の状況

本市の農業は、市の中心地を貫流する酒匂川流域に広がる水田地帯の稲作と西部及び南部の箱根山麓及び東部の曾我丘陵の樹園地のミカンを主体とした果樹に大別されます。

生産高の第1位は栽培面積が561haにも及ぶミカン（その他柑橘も含む）で、他に米・梅・鉢物類です。

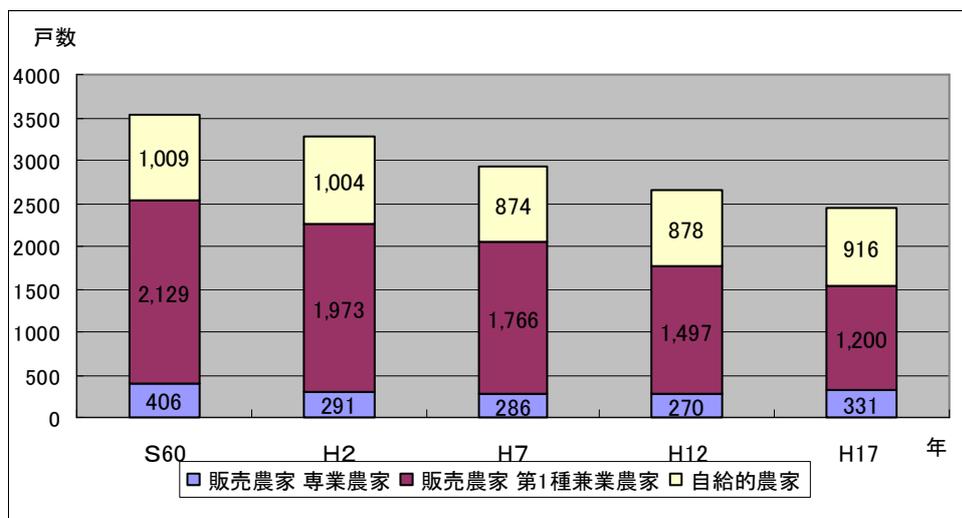
最近の傾向として、安価な輸入農作物の増加や農業従事者の高齢化等により、農家戸数の減少と耕作放棄地の増加が顕著です。

1 経営耕地面積の推移



資料：農林業センサス

2 農家戸数の推移

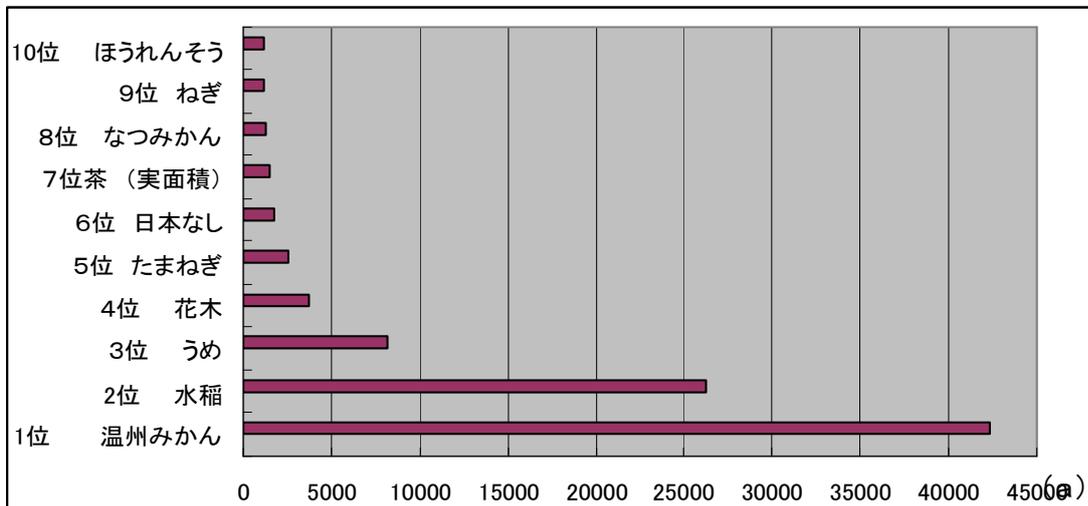


資料：農林業センサス

3 平成18年から19年 小田原農産物栽培状況

	水稲		たまねぎ		みかん		うめ		茶	
	市	収穫量	市	収穫量	市	収穫量	市	収穫量	市	収穫量
神奈川県1位	平塚市	2,730	小田原市	1,370	小田原市	11,400	小田原市	903	山北町	327
2位	小田原市	2,140	平塚市	566	湯河原町	3,630	南足柄市	261	秦野市	177
3位	厚木市	2,070	伊勢原市	510	南足柄市	3,420	山北町	161	南足柄市	158
4位	伊勢原市	1,560	横浜市	469	中井町	1,870	横浜市	110	小田原市	125
5位	海老名市	1,040	大磯町	405	大磯町	1,620	秦野市	78	松田町	115
神奈川県合計		15,200		5,650		29,900		2,050		1,135

4 作物別作付(栽培)面積上位10品目(平成17年2月1日)



資料:農林業センサス

III 漁業の状況について

本市は昔から相模湾西部の漁業の中心地として栄え、海の幸に恵まれていました。

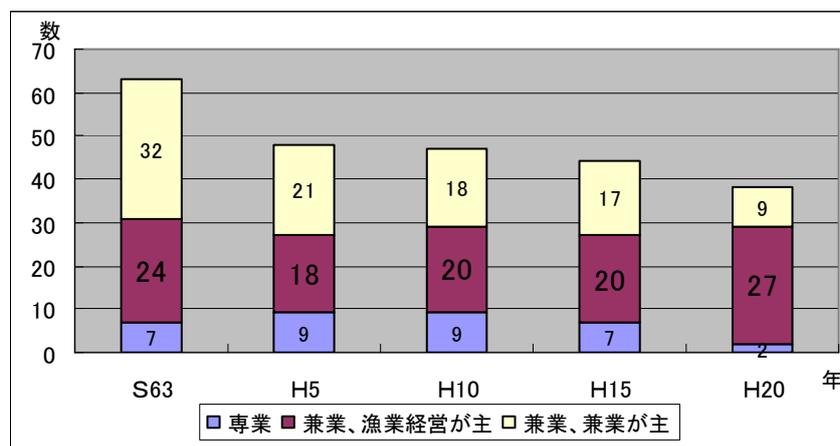
中でも全国的に有名なものが定置網漁業です。小田原の海域は急深な地形であり、岸から沖へ1,500メートルも離れば水深が200メートルに達するほどです。このため、この深い海底地形に適した定置網が発達してきました。

また、刺網という、帯状の網を海中に張り立てる漁業もあります。

小田原の漁業は、この定置網や刺網が主なものですが、ほかにも一本釣りやかご網、たこ壺などの漁業が行われています。

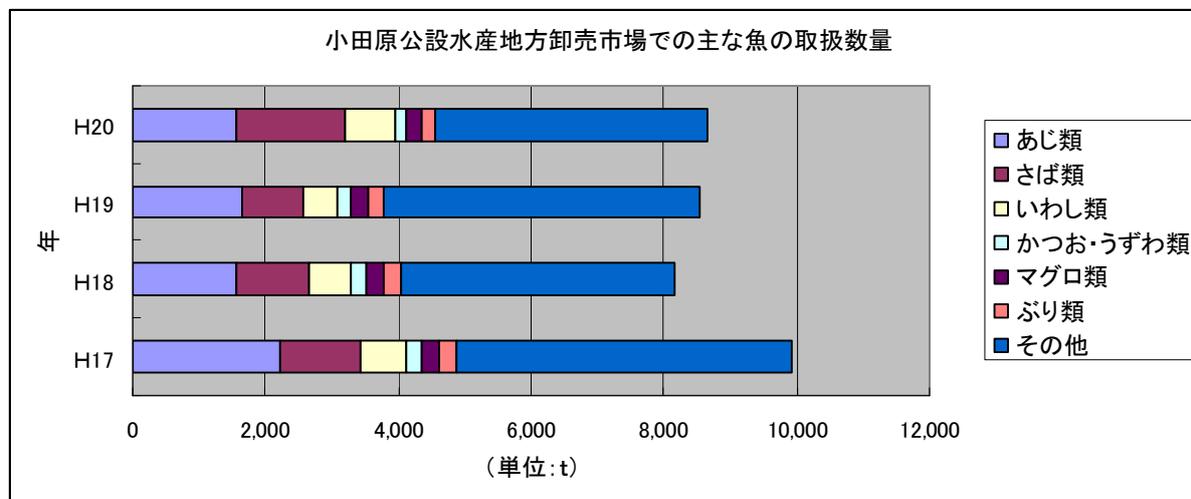
さらに、獲る漁業だけでなく、作る漁業として、ワカメ・コンブ養殖なども行われています。

1 経営組織別経営体数の推移



資料：漁業センサス

2 小田原市公設水産地方卸売市場での主な取扱数量



資料：水産海浜課

3 平成 20 年年度水揚げ量と水揚げ金額ベスト5

(1)水揚げ量ベスト5

順位	魚の名前	水揚げ量
1位	サバ類	1,199,671kg
2位	アジ類	837,293kg
3位	イワシ類	605,622kg
4位	ソウダカツオ	235,810kg
5位	カマス	187,028kg

(2)水揚げ金額ベスト5

順位	魚の名前	水揚げ量
1位	アジ類	272,116,713円
2位	サバ類	72,113,650円
3位	カマス	46,742,478円
4位	イワシ類	45,160,753円
5位	イカ類	35,230,795円

4 地元漁業種類別水揚げ状況

【定置網とは】

定置網とは、魚を誘い込むように魚の通り道に網を仕掛け、中に入った魚を獲る漁法です。

規模の大きい大型定置網と、主に家族経営型の小型定置網があります。

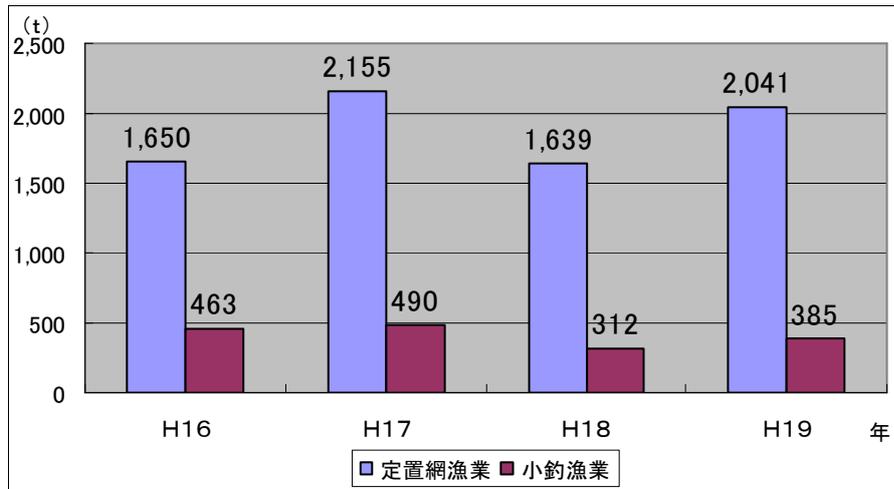
小田原では、米神、石橋、江之浦、根府川に大型テ痛み漁場があります。

対象魚は、あじ、サバ、イワシ、ソウダカツオ、カマスなど多岐にわたります。

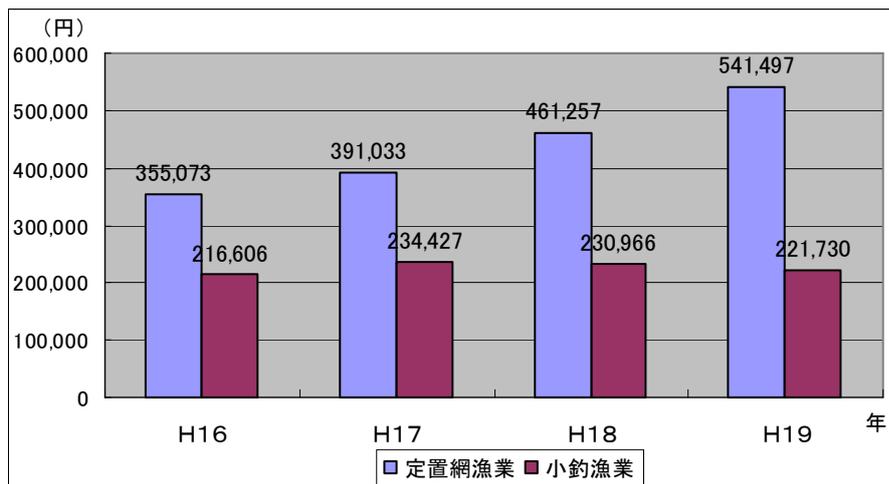
定置網は、小田原の主力漁業です。県内の沿岸漁業における年間漁獲量は約2万トンですが、そのうち50パーセント以上が定置網によるものです。

相模湾西部の定置網による漁獲量の90パーセント以上は、小田原市とその周辺地域で消費されており、定置網漁業は極めて重要な漁法です。

(1) 地元漁業種別水揚状況(数量)



(2) 地元漁業種別水揚状況(金額)



IV 健康状態について

1 人口動態統計

	出生			死亡			乳児死亡		死産		周産期死亡		婚姻		離婚		
	数	率	合計 特殊 出生 率	数	率	年齢 調整 死亡 率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	
H 20	市	1,529	7.7	1.23	1,875	9.4	4.43	5	3.3	42	26.7	9	5.9	1,107	5.6	390	1.96
	国	1,091,156	8.7	1.37	1,142,407	9.1	4.4	2,798	2.6	28,177	25.2	4,720	4.3	726,106	5.8	251,136	1.99
	県	79,179	8.8	1.23	63,771	7.1	3.99	217	2.7	1,696	21	357	4.5	56,822	6.3	18,227	2.03
H19		1,559	7.8	1.22	1,784	9	4.35	6	3.8	46	28.7	10	6.2	1,029	5.2	427	2.15
H18		1,570	7.9	1.21	1,656	8.3	4.19	4	2.5	41	25.5	9	5.6	1,148	5.8	421	2.12
H17		1,580	8	1.2	1,757	8.8	4.62	5	3.2	53	32.5	11	6.7	1,107	5.6	415	2.09
H16		1,623	8.2	1.21	1,578	7.9	4.5	3	1.8	48	28.7	9	5.5	1,113	5.6	442	2.22
H15		1,764	8.9	1.28	1,659	8.3	4.83	5	2.8	57	31.3	12	6.8	1,161	5.8	440	2.2
H14		1,842	9.2	1.33	1,653	8.8	5.06	5	2.7	60	31.5	14	7.5	1,168	5.9	514	2.6
H13		1,851	9.3	1.32	1,595	8	5.03	6	3.2	60	31.4	7	3.8	1,304	6.5	465	2.3
H12		1,904	9.5	1.34	1,549	7.7	5.07	5	2.6	58	29.6	13	6.8	1,273	6.4	438	2.19
H7		1,971	9.9		1,419	7.1	5.4	8	4.1	43	21.3	16	8.1	1,365	6.8	332	1.66
H2		1,859	9.6		1,327	6.9	6.02	8	4.2	51	26.3	7	3.8	1,160	6	264	1.36
S60		2,009	10.8		1,109	6	3.43	11	5.4	93	23.8	16	7.9	1,120	6	258	1.36
S55		2,279	12.8		1,025	5.8	4.41	23	10	76	32.3	31	13	1,190	6.7	233	1.31

*合計特殊出生率: その年次の15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。

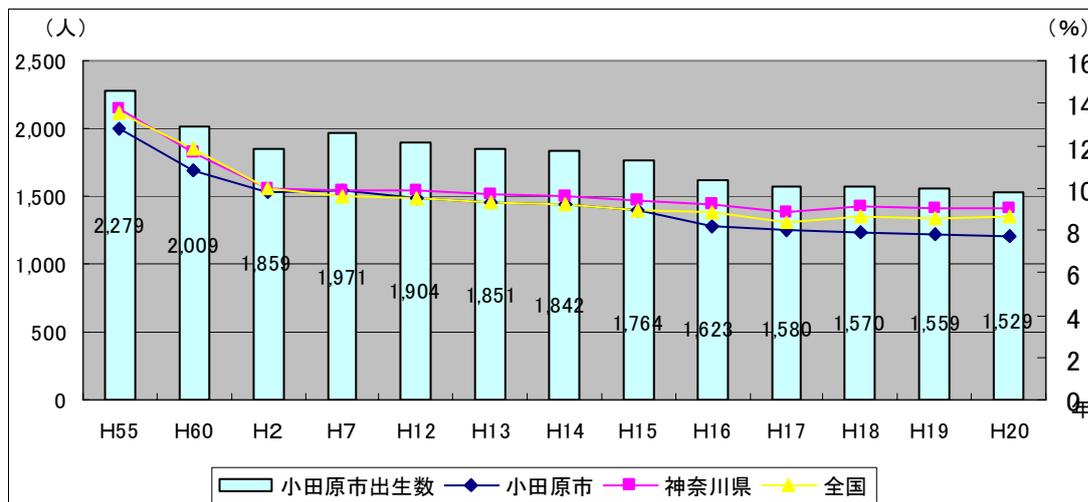
*年齢調整死亡率: 人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢段階別死亡率を一定の基準人口(昭和60年モデル)に当てはめて算出した指標

(1)出生

出生数、出生率の推移では、経年的に減少しています。平成16年頃から、国、神奈川県と比べると、減少傾向が強くなっています。

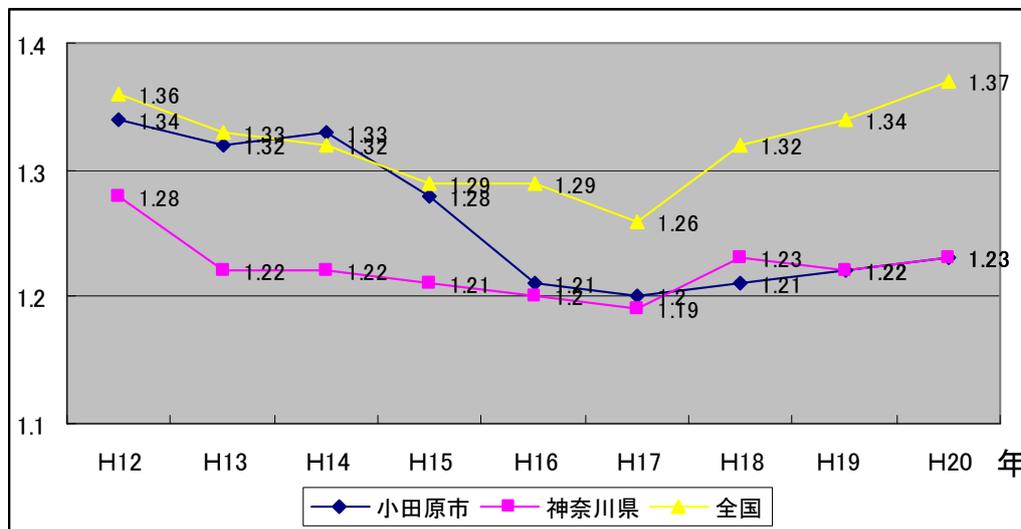
合計特殊出生率は、国、県、小田原市とも3年連続上昇しているが、国が最も上昇傾向が強くなっています。

① 出生率の年次推移



保健所年報

② 合計特殊出生率の推移



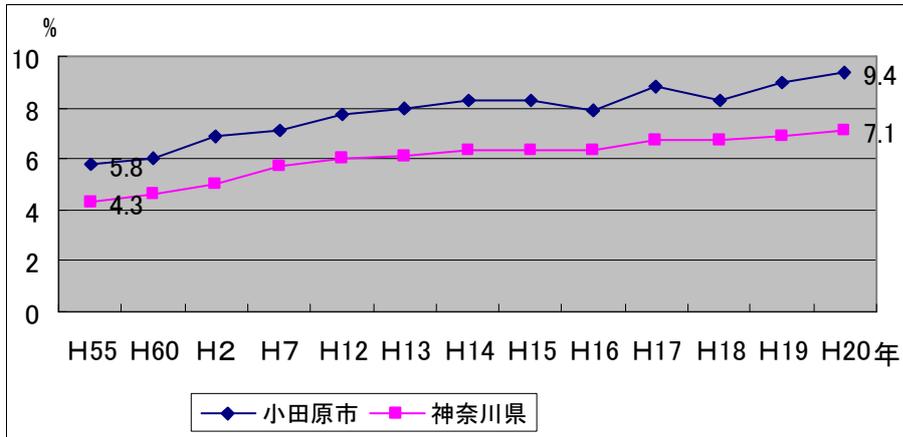
資料：保健所年報

(2)死亡

人口の高齢化の影響により、死亡率は上昇傾向にあります。死亡の状況は年齢によって差あり、全年齢の死亡数と全人口の比である死亡率は人口の年齢構成に大きく影響されます。そのため、小田原市では神奈川県に比べ、死亡率が高くなっています。

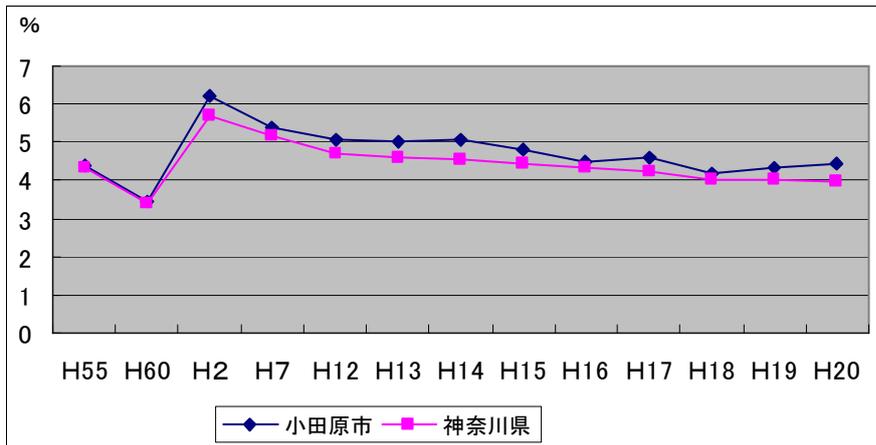
死亡原因は、国と同じ、1位悪性新生物、2位心疾患、3位脳血管疾患で変わりありませんが、脳血管疾患での死亡率は横ばいで、県下ワースト1位が3年間続いています。

①死亡率の推移



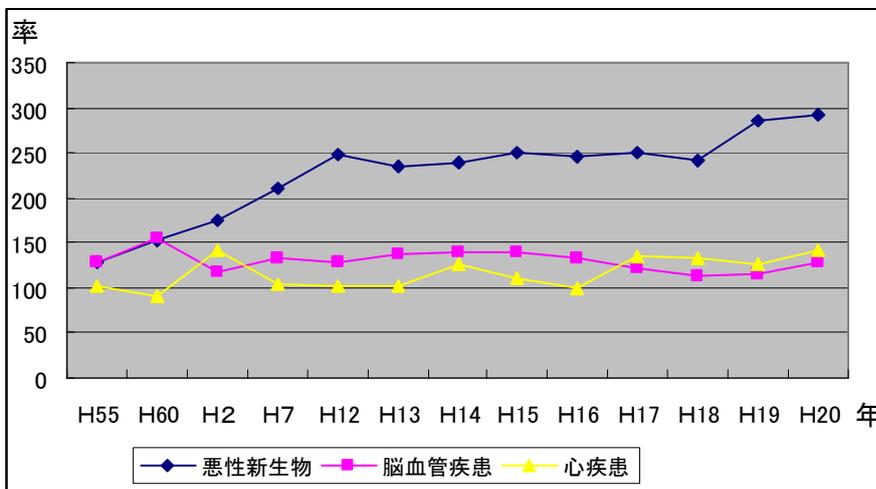
保健所年報

②年齢調整死亡率



保健所年報

③ 三大死因の推移



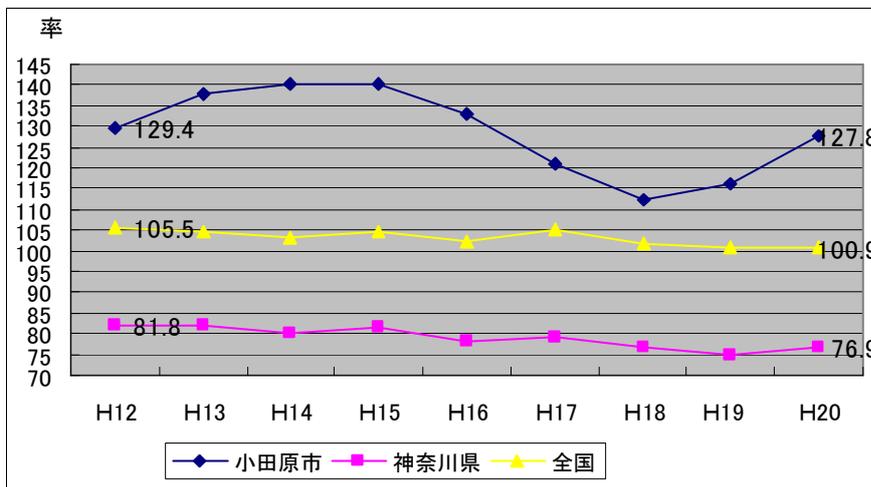
保健所年報

④本市の脳血管疾患の状況

	平成 18 年		平成 19 年		平成 20 年	
	市	死亡率	市	死亡率	市	死亡率
ワースト1	小田原市	112.1	小田原市	116.1	小田原市	127.8
ワースト2	横須賀市	106.3	三浦市	109.3	南足柄市	117.8
ワースト3	南足柄市	97.4	逗子市	109.2	三浦市	106.1
ワースト4	鎌倉市	93.2	横須賀市	102.8	鎌倉市	102.1
ワースト5	茅ヶ崎市	87.8	茅ヶ崎市	93.7	横須賀市	96.7
神奈川県平均		76.6		74.9		76.9

保健所年報

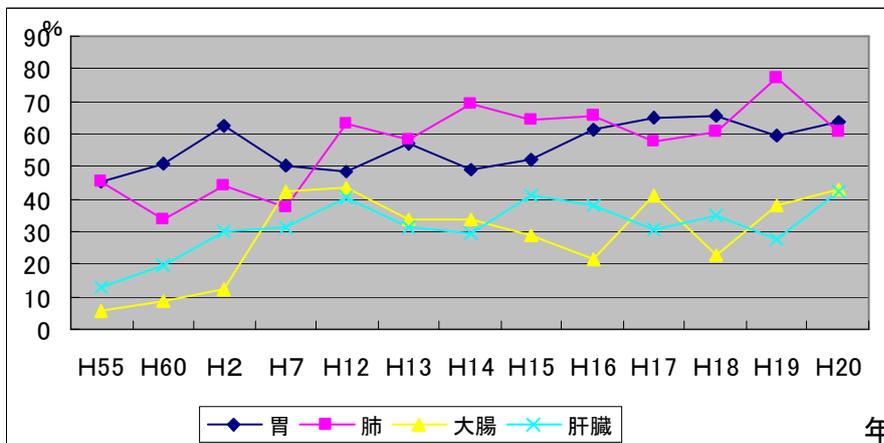
⑤ 脳血管疾患の死亡率の推移



保健所年報

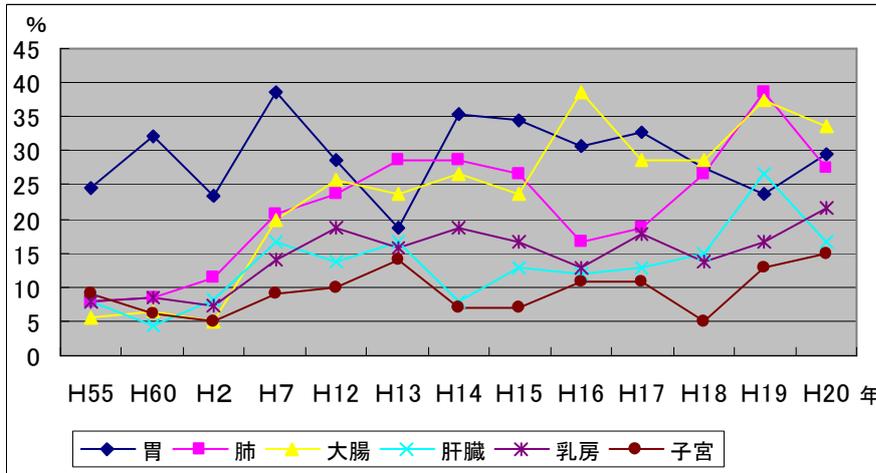
⑥ 部位別癌死亡率

男性



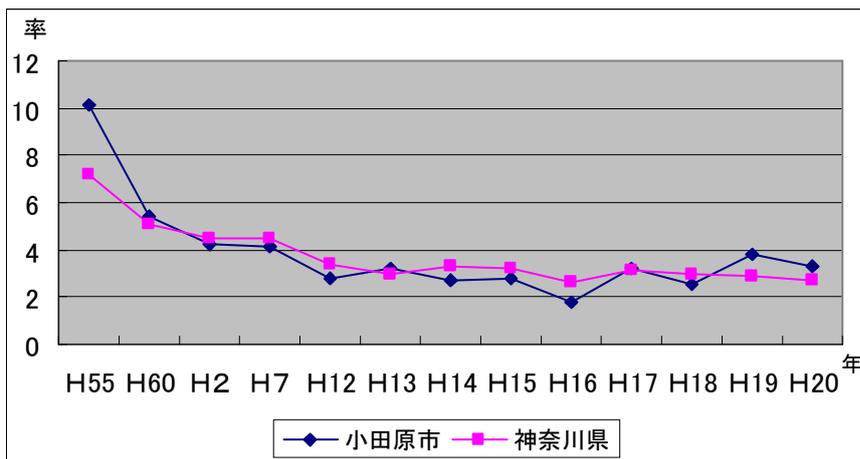
保健所年報

女性



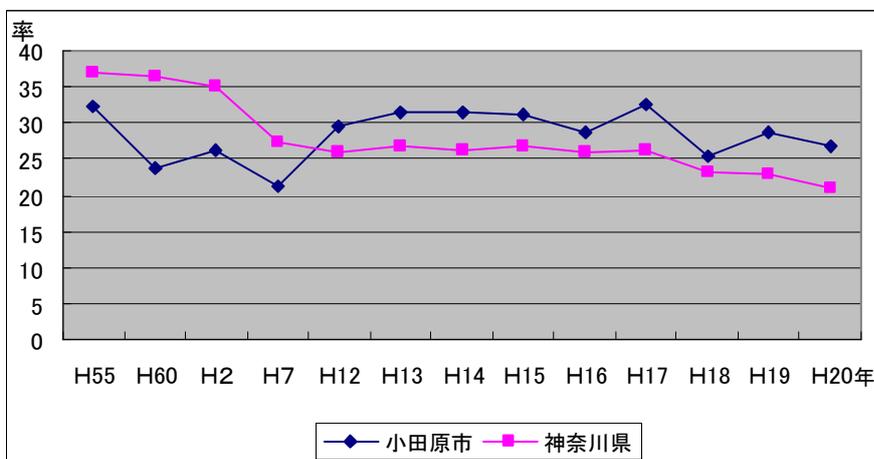
保健所年報

(1) 乳児死亡



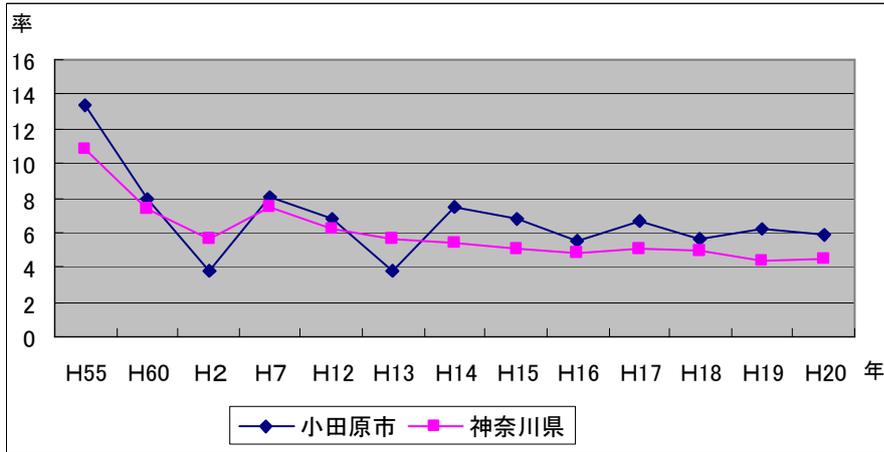
保健所年報

(2) 死産



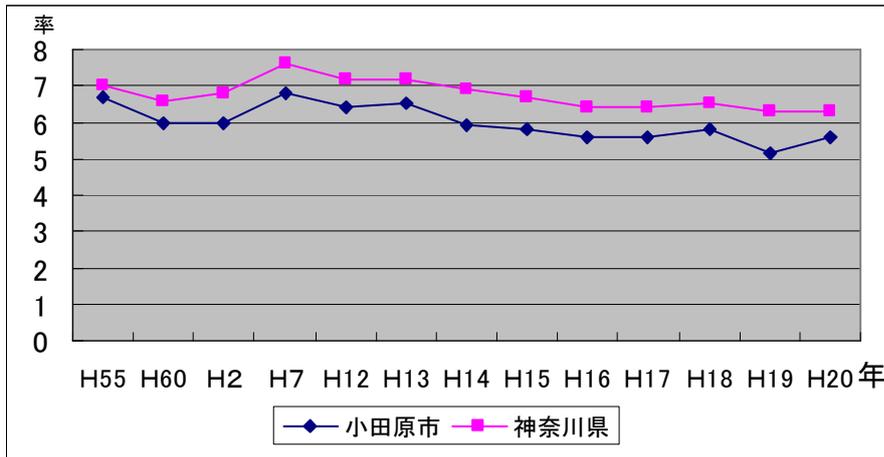
保健所年報

(3) 周産期死亡



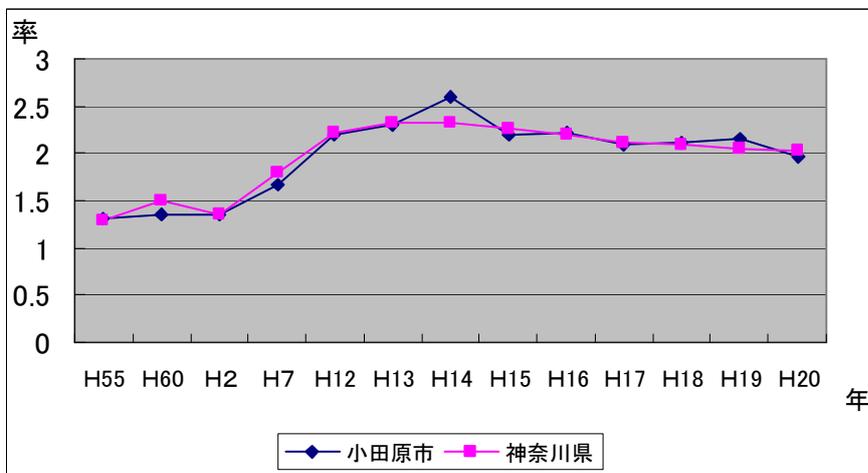
保健所年報

(4) 結婚



保健所年報

(7) 離婚



保健所年報

2乳幼児・児童・生徒の肥満の状況

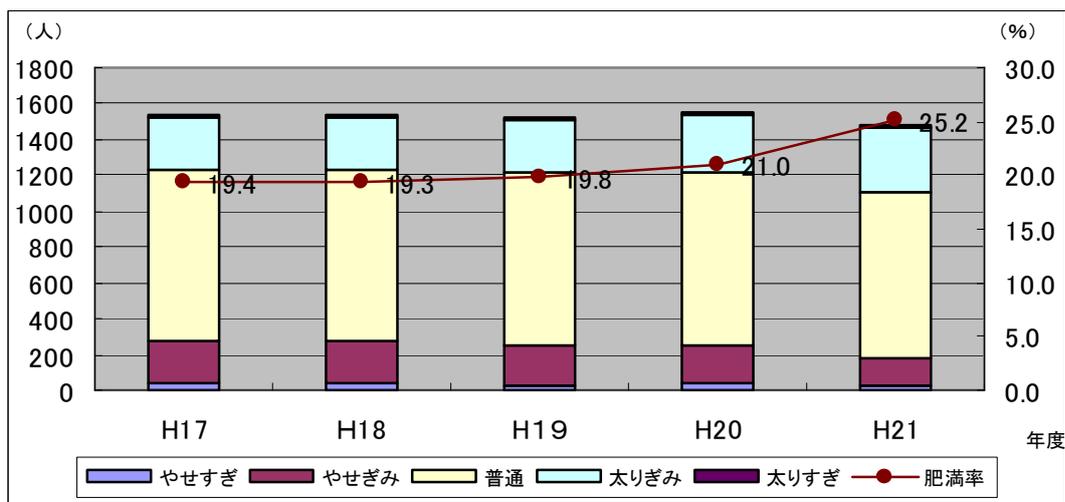
子どもにおける肥満者の割合は、増加の傾向にあります。

本市の1歳6ヶ月健診では、徐々に増加傾向にあったものが、平成21年度に前年度より4.1ポイント増加しています。

3歳児健康診査は、逆に減少傾向にあります。

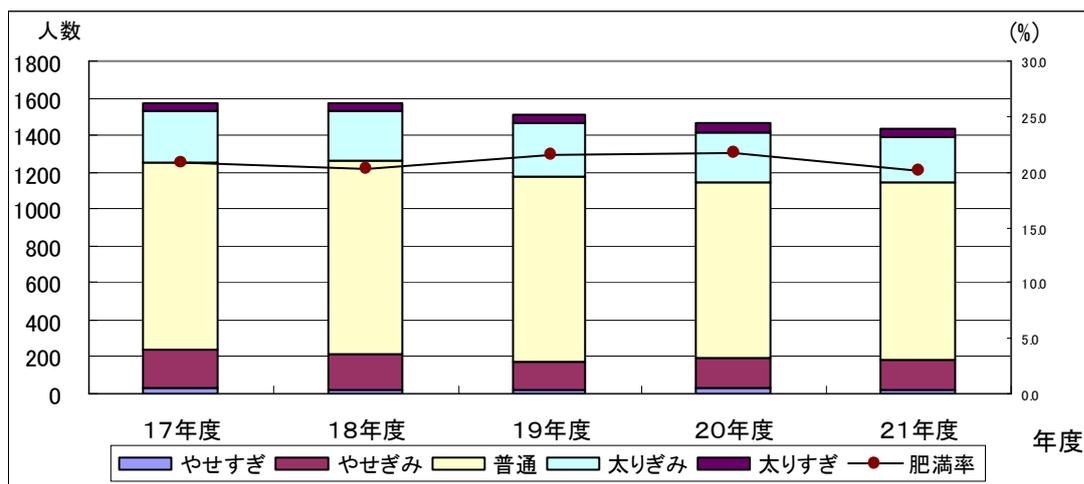
小学生・中学生になるとやせの割合が多くなっています。

(1) 1歳6か月健診の肥満率の推移



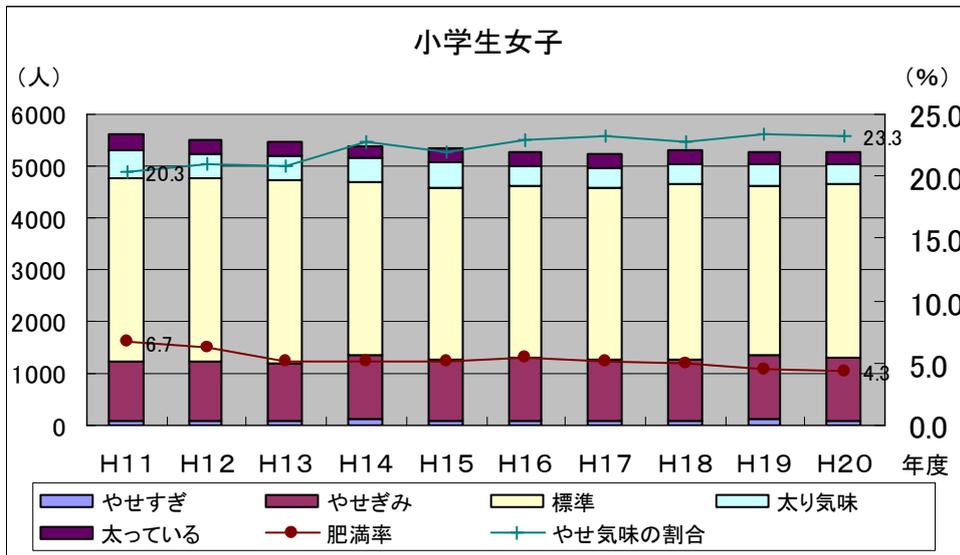
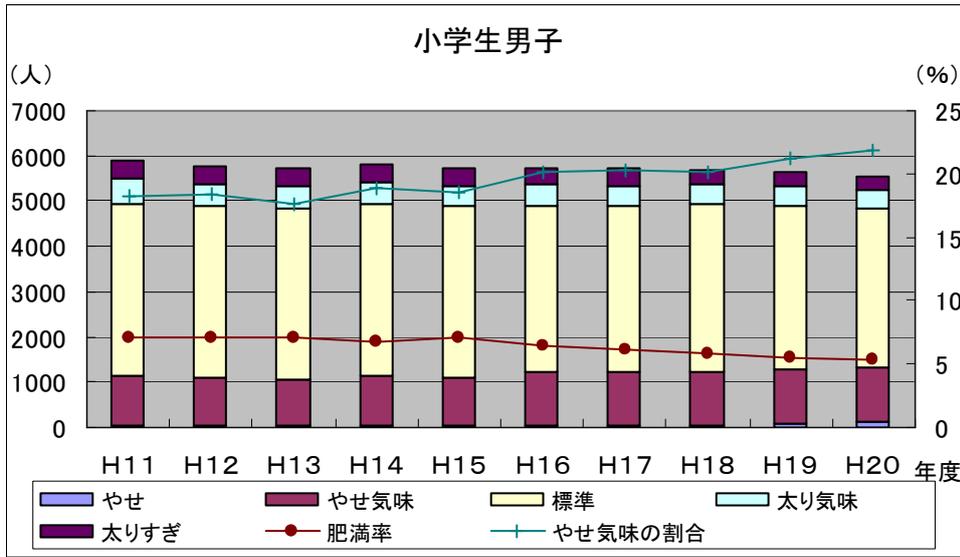
母子保健統計報告

(2) 3歳健康診査の肥満率の推移

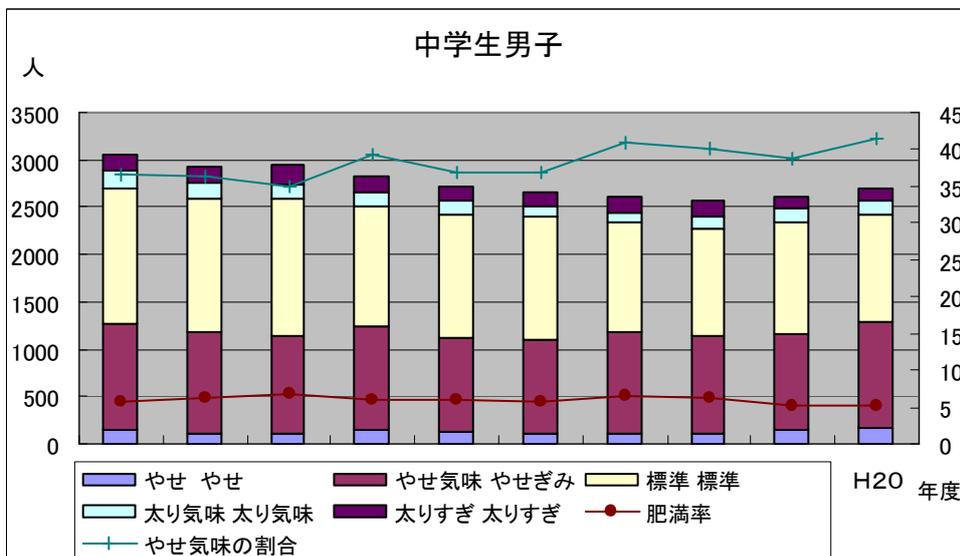


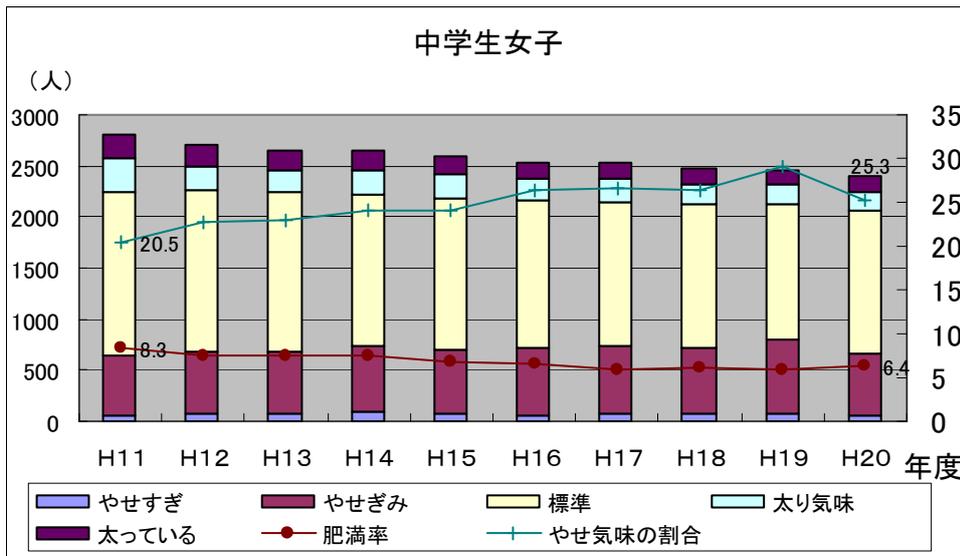
母子保健統計報告

(3)小学生の肥満率の推移



(4)中学生の肥満率の推移





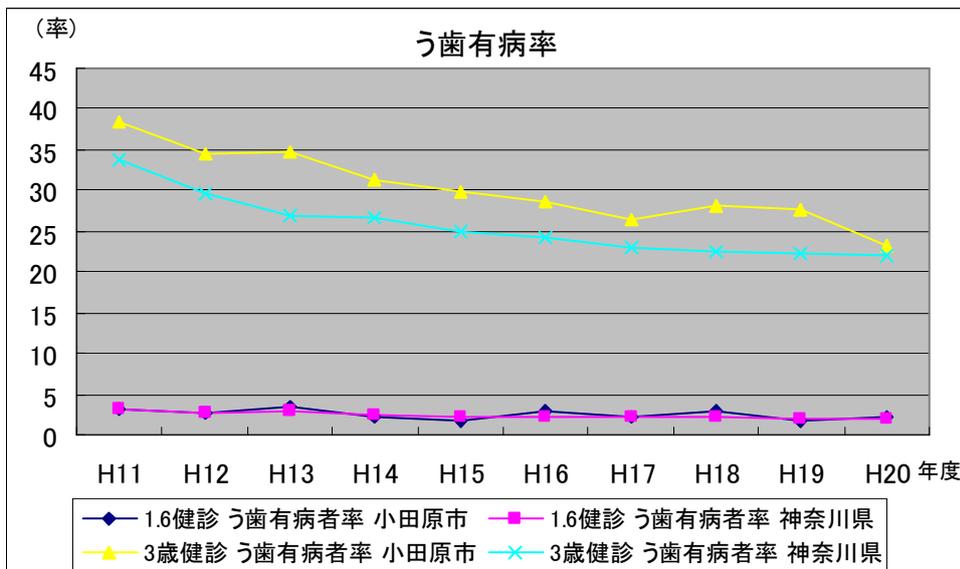
資料：学校保健関係統計

3 乳幼児・児童・生徒のう歯の状況

全国的に子どものむし歯の罹患率は減少傾向にありますが、本市では、19年度に中学生が一時的に増加しましたが、それ以外は減少傾向にあります。

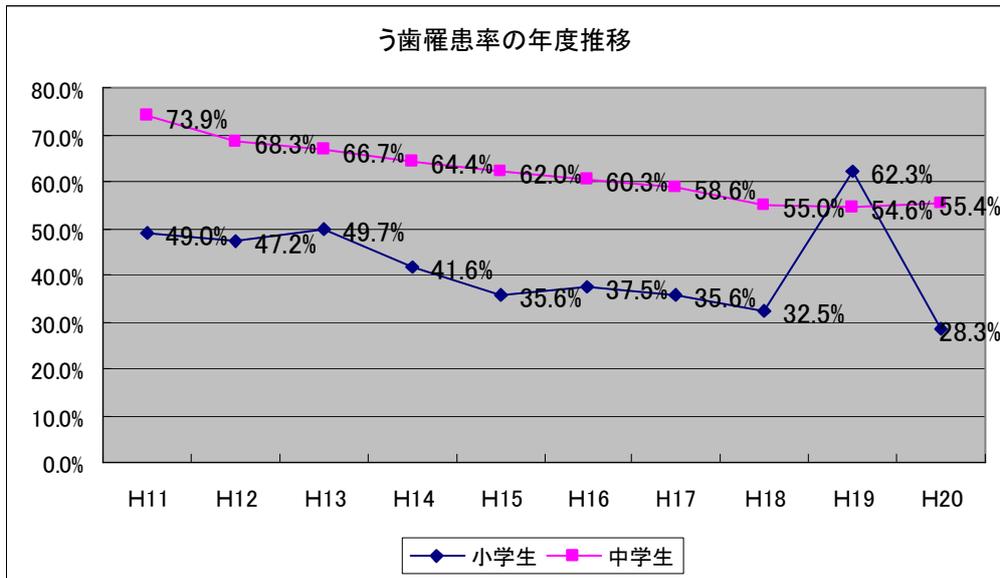
しかし、1歳6ヶ月健康診査では神奈川県と比較し、罹患率は同率ですが、3歳児健康診査の罹患率は、神奈川県の平均より高くなっており、1歳6ヶ月健康診査から3歳児健康診査までに虫歯になる幼児が増えている状況です。

(1) 1歳6ヶ月健康診査・3歳児健康診査のう歯の罹患率の推移



資料：母子保健報告

(2)小学生・中学生のう歯罹患率の推移



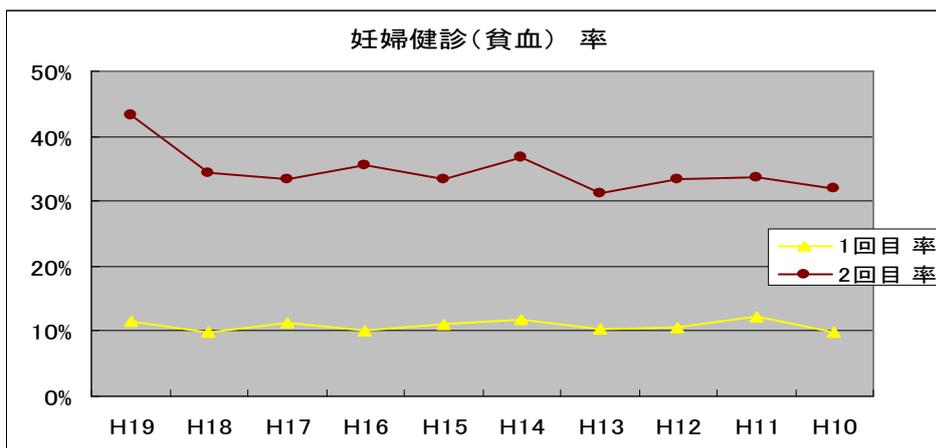
資料：学校保健関係統計

4妊娠中の健康状態

本市の妊婦健康診査の結果、貧血と診断された者は、平成 19 年度で前期が 11.4%、後期が 43.1%です。平成 10 年から、後期妊婦健康診査で貧血と診断されたものは少しずつ増加しています。

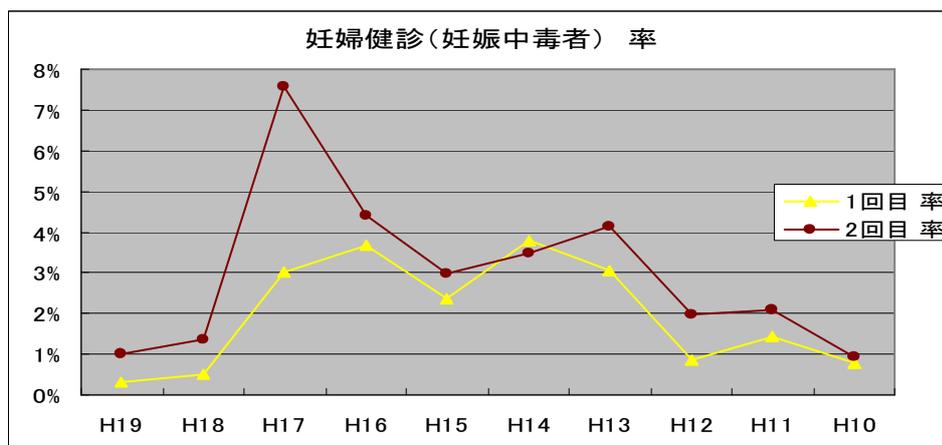
妊娠中毒症は、年度により、ばらつきがあります。

(1) 貧血の状況



資料：母子保健報告

(2) 妊娠中毒症の状況



資料：母子保健報告

5 平成 20 年度特定健康診査の状況

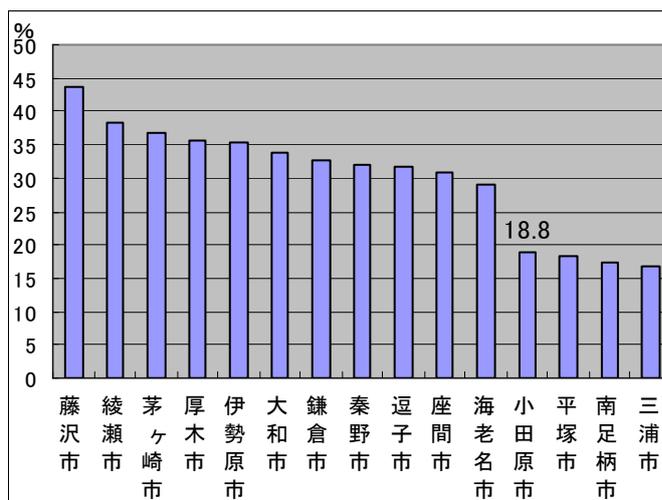
平成 15 年から基本健康診査が、平成 20 年度から、特定健康診査が開始されました。平成 16 年度の基本健康診査の受診率は、29.3%でした。

平成 20 年度の特定健康診査の受診率は、18.8 パーセントで県下市中(14市)、12番目です。

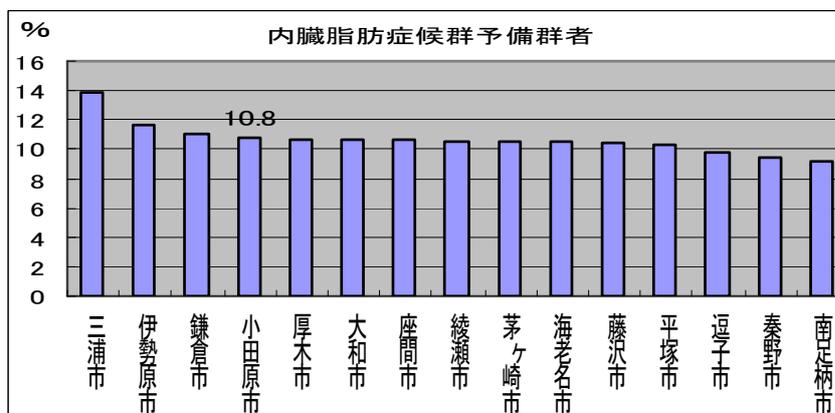
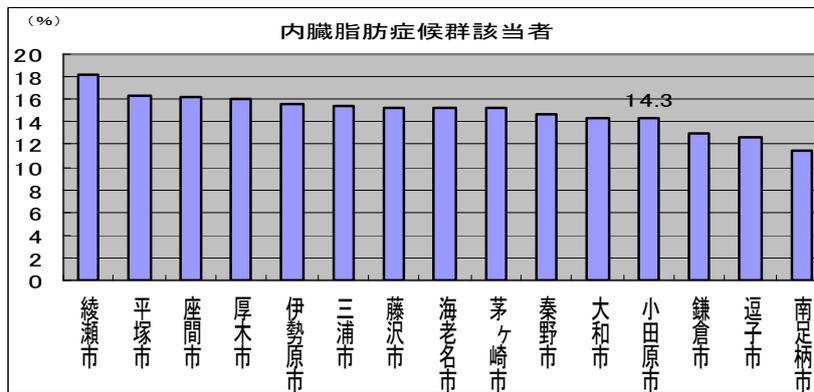
また、内臓脂肪症候群(メタボリック症候群)該当者は 14.3%、内臓脂肪症候群(メタボリック症候群)予備軍者は 10.8%でした。

内臓脂肪症候群(メタボリック症候群)該当者のリスクパターンをしてみると、腹囲と、血圧のパターンが 218 人3.1%と多い状況にあります。

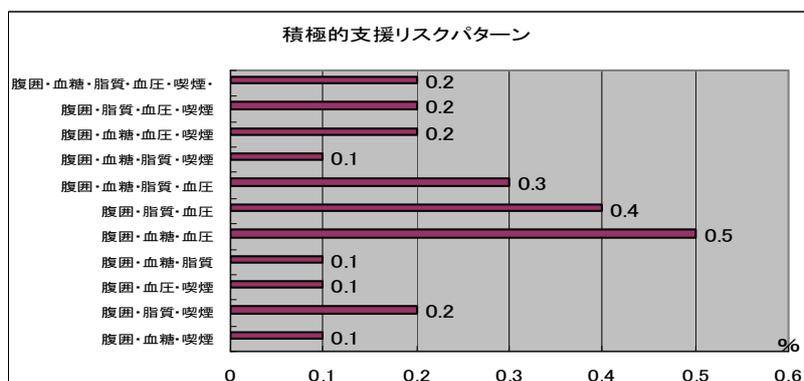
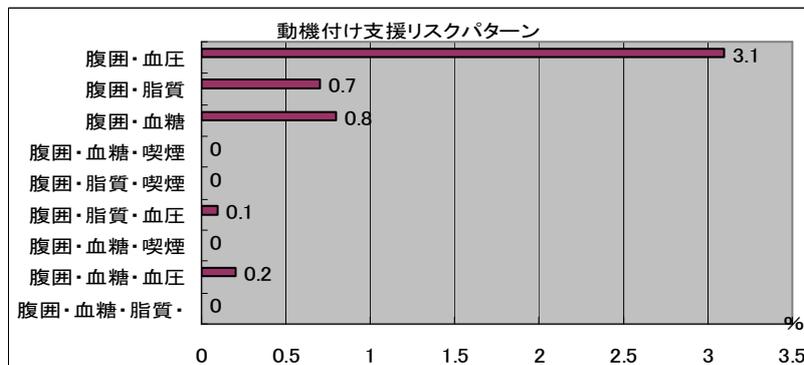
(1) 受診率の状況



(2) 有所見者の状況

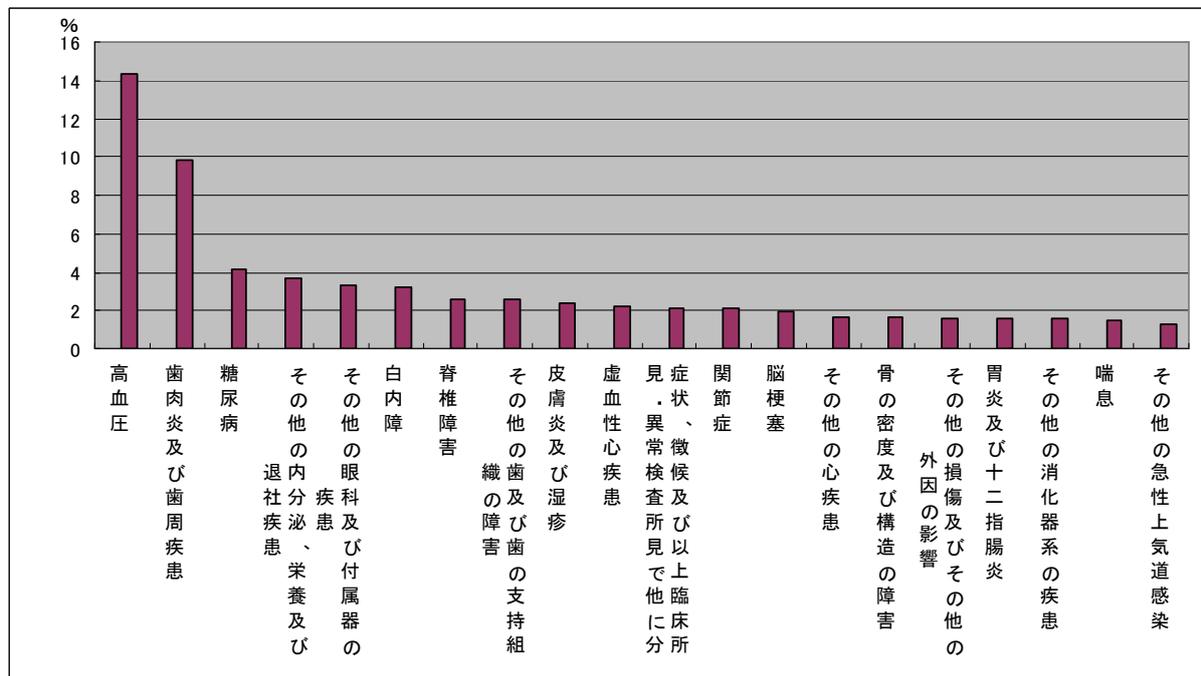


* 特定健診の結果どのような危険因子（リスク：検査結果）で特定保健指導の対象者（動機付け支援者・積極的支援者）となったか？



6 国民健康保険の状況

(1) 疾病中分類(121分類)からみた受診件数上位20項目(平成19年5月診療分)



(2) 高血圧性疾患での受診割合が高い市

	平成18年		平成19年		平成20年		平成21年	
	市	割合	市	割合	市	割合	市	割合
ワースト1	南足柄市	18.0	南足柄市	19.6	南足柄市	17.8	南足柄市	19.4
ワースト2	小田原市	16.9	小田原市	16.6	小田原市	15.6	小田原市	15.9
ワースト3	綾瀬市	16.5	秦野市	15.9	秦野市	15.2	茅ヶ崎市	14.9
ワースト4	三浦市	15.9	茅ヶ崎市	15.6	綾瀬市	14.6	平塚市	14.8
ワースト5	相模原市	15.7	相模原市	15.9	平塚市	14.5	横須賀市	14.8
神奈川県平均		14.8		14.8		13.6		13.9

(3) 骨粗しょう症での受診割合の高い市

	平成18年		平成19年		平成20年		平成21年	
	市	割合	市	割合	市	割合	市	割合
ワースト1	逗子市	1.68	逗子市	1.83	鎌倉市	1.23	小田原市	1.27
ワースト2	鎌倉市	1.66	小田原市	1.66	逗子市	1.21	鎌倉市	1.24
ワースト3	小田原市	1.61	藤沢市	1.66	小田原市	1.08	逗子市	1.09
ワースト4	南足柄市	1.33	南足柄市	1.38	藤沢市	0.84	南足柄市	0.89
ワースト5	藤沢市	1.66	藤沢市	1.21	横須賀市	0.80	三浦市	0.82
神奈川県平均		1.09		14.8		0.81		13.9

資料：神奈川県国民健康保険団体連合会

V 小・中学校の食の状況

1 栄養教諭・学校栄養職員配置状況 (平成21年5月1日現在)

栄養教師 1名

学校栄養職員 18名

2 小・中学校の地場産の利用状況

(1)米

- ・ 県内産自主流通米使用(小田原産の米も含まれている)
- ・ 現在は、キヌヒカリとさとじまんのブレンド米を使用。
- ・ 小田原市の学校給食用の米は、主に小田原市と近隣の町で取れた米を使用。
- ・ 平成15年1月の全国学校給食週間中に、小学校13校を対象に小田原産米だけを使った米飯給食を試験的に実施。
- ・ 平成16年からは1月の全国学校給食週間中には小中学校全校で小田原産米の米飯給食を実施している。

(実施協力機関:JAかながわ西湘、全農神奈川、県学校給食会ほか)

(米飯給食は委託炊飯方式)

- ・ 平成22年4月から片浦小学校が、国の米飯給食回数増支援事業の補助金を利用して、JAかながわ西湘から無償貸与された家庭用炊飯器(7台)を使った自校炊飯開始。

(2)青果

- ・ 小松菜、ほうれん草は通年使用
- ・ 下中玉葱(神奈川ブランド)は4月~7月
- ・ みかんは11月~2月
- ・ レモンは露地ものと、温室もので通年使用
- ・ その他、野菜は出盛り期に地場ものを優先して使用

人参(春先) じゃが芋(5月~6月) いんげん(春~夏) かぼちゃ(夏)

ピーマン(夏) なす(春~秋) 長葱(秋~冬) キャベツ(秋~春)

※ 里芋(秋~春) 白菜(冬) ブロッコリー(冬) キウイフルーツ

※ 里芋(秋~春)

平成13年度、市農政課が設置した米飯給食用水田利用作物等利用促進協議会において、休耕田を利用して作った地場産里芋等を積極的に学校給食に使うための利用促進事業を開始。11月から2月にかけて、モデル校でのメニュー開発、試食会、アンケートの他、学校栄養士を対象に里芋料理研究会を行った。平成14年度以降も事業は継続され、平成15年度は10月~12月にJAおだわら取り扱いの里芋をモデル校8校で本格使用。

この事業で小学生向けに産直マップ「おだわら農作物マップ」を作成した。

平成16年度から市農政課事業の名称が小田原市食育推進協議会に変わったが、引き続き里芋使用の拡大に向けた取り組みを継続。生産者と学校栄養士の交流会や創作料理研究会を実施し、平成16年度はモデル校12校で10月~2月まで使用した。

現在では、小学校19校で使用している。

キウイフルーツ

平成 15 年に市農政課の呼びかけに応じ、熟度の良い丸ごと食べられる地場産キウイフルーツを選果場近くの小学校 2 校で 1 月に試験使用。平成 16 年度から小田原市食育推進協議会事業にキウイフルーツの使用促進も位置付け、生産者と学校栄養士の交流会を実施し、JA おだわら取り扱いのキウイフルーツを単独調理校の小学校 19 校で 2 月に使用した。現在では、1 月から 3 月の期間使用している。

また、平成 20 年度からは、有機農法で栽培されたキウイフルーツも給食で使える仕組みをつくり、3 月から 5 月の期間使用できるなど、引き続き使用の拡大に向けた取り組みを実施。

小松菜・ほうれん草

平成 20 年度から、農事組合法人の生産組合が低農薬で栽培した小田原産の小松菜とほうれん草が、年間を通して使えるしくみをつくり、全校で使用。

玉ねぎ

平成 21 年度から、下中地域で無農薬で生産するかながわブランドの玉ねぎで、規格外やとう立ちした玉ねぎを安価で使えるしくみをつくり、近くの学校や共同調理場で 6 月から使用を開始した。

(3) 鮮魚と加工品

- ・ 小田原漁港で水揚げされる季節の小鰯・鰯・かますを積極的に使用。
- ・ 小田原加工の魚肉練り製品
かまぼこ、はんぺん、さつまあげ、あげボール、つみれはんぺん、つみれボール
すじぼこ、鰯はんぺん、梅なると、白焼きちくわ、はんぺんあられ、浮きはんぺん
- ・ 平成 16 年に県水産課に事務局を置く、県魚価向上対策事業とタイアップし小田原漁港で水揚げされる鰯とかますを使った水産加工品を開発し、学校給食用に製品化した。
開発製品：鰯ハンバーグ、鰯とかますの減塩ひもの、鰯とかますの減塩醤油干したこ天(おでん種)
- ・ 17 年度も引き続き県事業とタイアップし、製品開発研究を行い、いさきはんぺんといわし団子を給食用に製品化した。
- ・ 18 年度は、小田原かまぼこの一切れを、真空パック式の個包装にし、製品化した。

(3) その他

- ・ 加工食品
減塩曾我の梅干、削り節、曾我の梅ジャム、味噌
- ・ 学校田で収穫したもち米、学校菜園で栽培した芋、大根、しいたけ、玉ねぎなど。
- ・ 学校牛乳は県内産「足柄金太郎牛乳」。市内下中地区の酪農家からも 1 日数トン収乳。

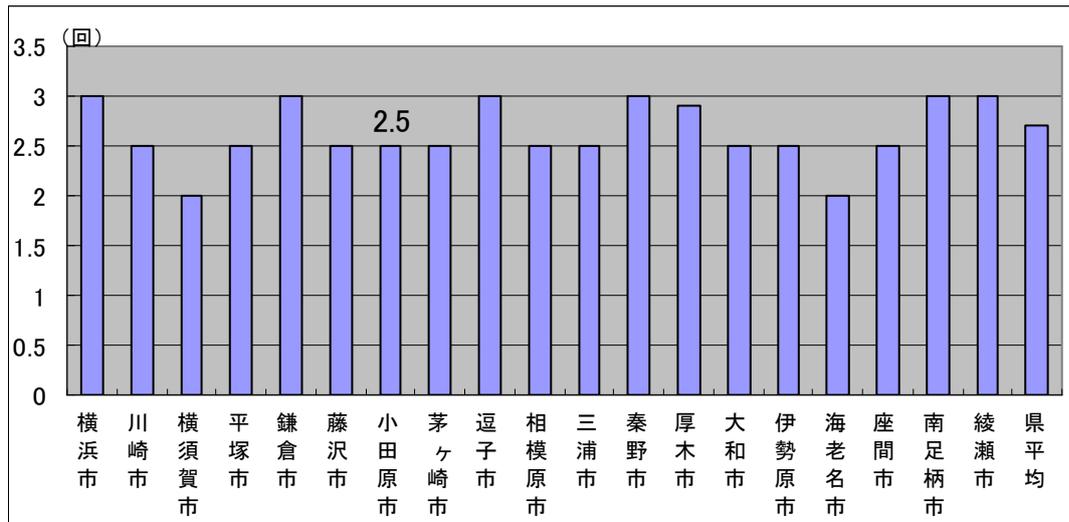
(4) 小田原市の学校給食用オリジナル食器

- ・ 千年の歴史を持ち、日本でもトップクラスにある小田原の木地挽き技術で作った特注木製汁椀を、平成 12 年度から学校給食に導入。
- ・ 学校給食のご飯食にふさわしい食器を使うことにより、日本型食習慣の育成を図ると共に、食器を通じて小田原の木の文化や地場産品について学ぶ機会としている。
- ・ 小田原の木地挽き技術や木目を生かした塗り技術など、木の食器にまつわる歴史や文化につ

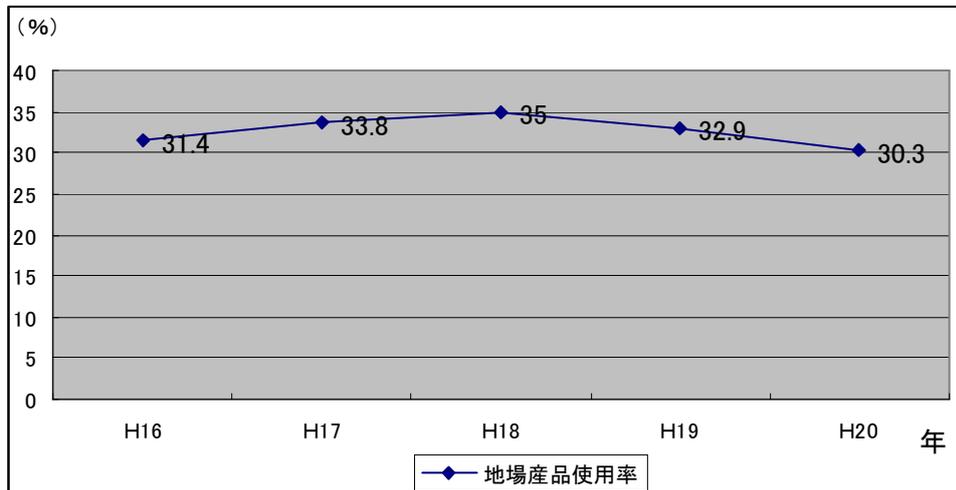
いて学ぶための教材として活用。

- ・ ランチルーム用食器として1クラス分の汁椀 50 個を全小学校25校へ段階的に導入した。
- ・ 平成 20 年度からは 2 順目に入り、50 個ずつ追加配布。
- ・ 現在、小学校全校のランチルーム等で米飯給食の時に使用。
- ・ 材質は国産の樺の間伐材。

3 米飯給食実施状況



4 学校給食における県内地場産品(生鮮食料品)使用率



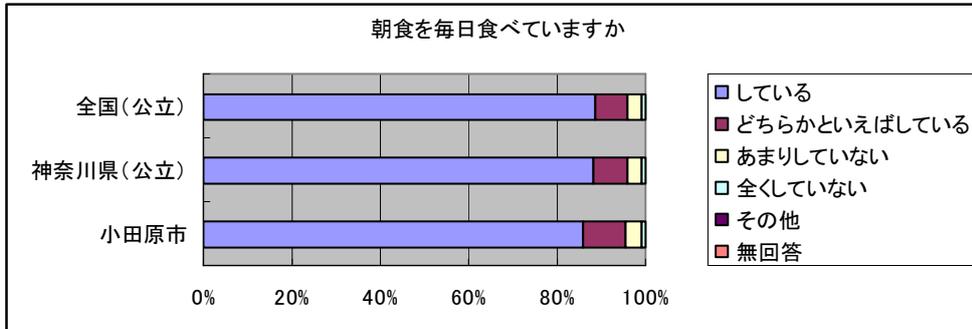
資料:小田原市環境基本計画・年次報告書

VI 食生活状況

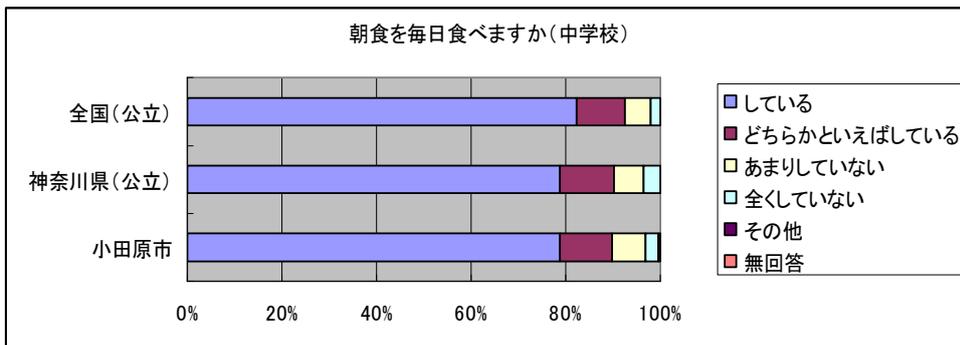
1平成21年度全国学力・学習状況調査結果

問 朝食を毎日食べていますか

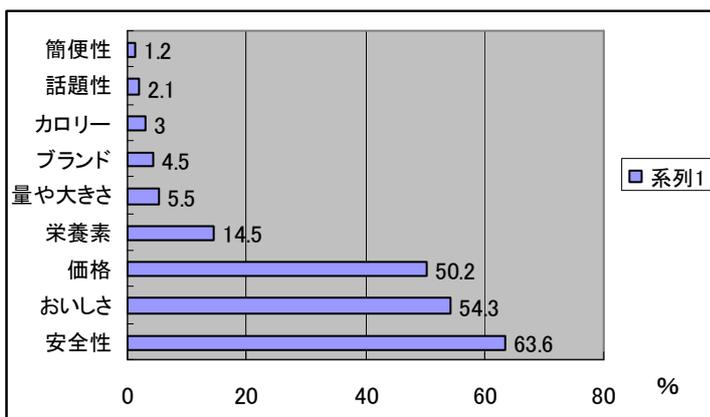
小学校



中学校

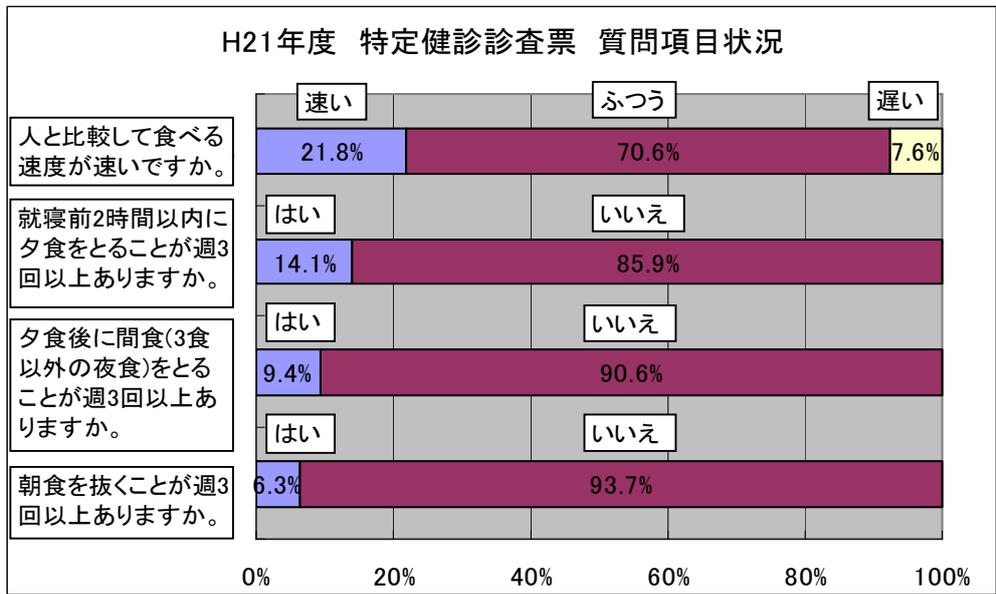


食品購入時における消費者の意識・関心



資料：農林漁業金融公庫「平成14年度第1回消費者動向等に関する調査（食品表示に関するアンケート調査）」（平成14年6～7月調査）

2 平成 21 年度特定健康診査票・質問項目からみる食の行動



資料：市健康づくり課推進担当

「小田原市 健康と食に関する意識調査」結果

資料6

1. 調査の概要

- (1)対象者 満20歳以上の市民
- (2)調査時期 平成21年9月6日～11月1日
- (3)調査方法
各地区で実施された健民祭、バザー等で調査用紙を配布し、各会場で回収。
健康おだわら普及員等を通じて、各地区の市民へ調査用紙を配布し、回収。
- (4)回収数 851件

2. 調査結果

【回答者のプロフィール】

性別

	総数	
男性	396	46.5%
女性	442	51.9%
無回答	13	1.5%
合計	851	100%

年代

	総数	
20歳代	88	10.3%
30歳代	158	18.6%
40歳代	163	19.2%
50歳代	121	14.2%
60歳代	186	21.9%
70歳以上	131	15.4%
無回答	4	0.5%
合計	851	100%

世帯構成

	総数	
一人暮らし	35	4.1%
夫婦のみ	162	19.0%
親と子の2世代	403	47.4%
親、子、孫の3世代	172	20.2%
その他	3	0.4%
無回答	76	8.9%
合計	851	100%

【食習慣】

1. あなたの食習慣についてお伺いします。朝食をとる頻度はどのくらいですか。

	1 必ずとる	2 週に4～6回 はとる	3 週に1～3回 はとる	4 朝食は とらない	5 決まっ ていない	無回答	合計
男性	299 75.5%	26 6.6%	23 5.8%	29 7.3%	15 3.8%	4 1.0%	396 100%
女性	375 84.8%	17 3.8%	14 3.2%	13 2.9%	13 2.9%	10 2.3%	442 100%
20歳代	44 50.0%	6 6.8%	8 9.1%	16 18.2%	14 15.9%	0 0.0%	88 100%
30歳代	114 72.2%	16 10.1%	10 6.3%	13 8.2%	3 1.9%	2 1.3%	158 100%
40歳代	130 79.8%	8 4.9%	11 6.7%	6 3.7%	5 3.1%	3 1.8%	163 100%
50歳代	101 83.5%	12 9.9%	2 1.7%	3 2.5%	3 2.5%	0 0.0%	121 100%
60歳代	172 92.5%	1 0.5%	6 3.2%	3 1.6%	1 0.5%	3 1.6%	186 100%
70歳以上	122 93.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%	2 1.5%	6 4.6%	131 100%
総数	686 80.6%	43 5.1%	37 4.3%	42 4.9%	29 3.4%	14 1.6%	851 100%

「必ずとる」と回答した人は、80.6%となりました。

男女別では、女性のほうが「必ずとる」割合は高く、男性75.5%に対し、女性84.8%でした。県の調査（H19）と比較して大きな差はありませんでした。男性の「朝食はとらない」の割合は県の調査より高く、県4.9%に対し、7.3%でした。

年齢別では、年齢が高くなるほど朝食を「必ずとる」割合が高くなっています。20代、30代の「朝食はとらない」割合は県の調査より高く、県では、20代7.5%、30代7.0%に対し、小田原市は20代18.2%、30代8.2%となりました。

2. 1で2～5と答えたかたにお伺いします。あなたが朝食をとらない場合の理由は何ですか。

	朝食をつ くったりと ったりする 時間がない から	食欲が ないから	やせたい から	朝食が用意 されていな いから	仕事など で時間が不 規則だから	理由は 特にな い	その他	無回答	合計
男性	20 21.7%	15 16.3%	0 0.0%	2 2.2%	24 26.1%	21 22.8%	8 8.7%	2 2.2%	92 100%
女性	16 28.1%	16 28.1%	1 1.8%	0 0.0%	7 12.3%	11 19.3%	5 8.8%	1 1.8%	57 100%
20歳代	9 20.9%	17 39.5%	0 0.0%	0 0.0%	6 14.0%	8 18.6%	1 2.3%	2 4.7%	43 100%
30歳代	15 35.7%	7 16.7%	1 2.4%	1 2.4%	7 16.7%	10 23.8%	1 2.4%	0 0.0%	42 100%
40歳代	10 33.3%	3 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 30.0%	3 10.0%	5 16.7%	0 0.0%	30 100%
50歳代	2 10.0%	2 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 35.0%	7 35.0%	2 10.0%	0 0.0%	20 100%
60歳代	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%	3 27.3%	3 27.3%	1 9.1%	11 100%
70歳以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100%
総数	36 24.0%	31 20.7%	1 0.7%	2 1.3%	31 20.7%	33 22.0%	13 8.7%	3 2.0%	150 100%

「朝食をつくったりとったりする時間がないから」の回答割合（24.0%）が高く、続いて「理由は特にない」（22.0%）「食欲がないから」（20.7%）「仕事などで時間が不規則だから」（20.7%）となりました。

男女別でみると、男性は「仕事などで時間が不規則だから」の回答割合（26.1%）が高く、続いて「理由は特にない」（22.8%）となりました。女性は「朝食をつくったりとったりする時間がないから」（28.1%）と「食欲がないから」（28.1%）が高くなりました。

年齢別でみると、20代は「食欲がないから」30代、40代は「朝食をつくったりとったりする時間がないから」、50代は「仕事などで時間が不規則だから」「理由は特にない」の割合が高くなりました。

【孤食】

3. あなたは朝食をどのようにとりますか。

	同居する全員ととることが多い		同居する人のうち何人かととることが多い		一人でとることが多い		一人でとる		とらない		その他		無回答		合計	
男性	132	33.3%	99	25.0%	82	20.7%	40	10.1%	22	5.6%	6	1.5%	15	3.8%	396	100%
女性	123	27.9%	169	38.3%	69	15.6%	51	11.6%	8	1.8%	3	0.7%	18	4.1%	441	100%
20歳代	7	8.0%	19	21.6%	19	21.6%	22	25.0%	12	13.6%	3	3.4%	6	6.8%	88	100%
30歳代	42	26.6%	67	42.4%	25	15.8%	8	5.1%	12	7.6%	2	1.3%	2	1.3%	158	100%
40歳代	35	21.5%	69	42.3%	31	19.0%	16	9.8%	2	1.2%	1	0.6%	9	5.5%	163	100%
50歳代	24	19.8%	42	34.7%	35	28.9%	14	11.6%	2	1.7%	2	1.7%	2	1.7%	121	100%
60歳代	84	45.2%	48	25.8%	30	16.1%	17	9.1%	1	0.5%	0	0.0%	6	3.2%	186	100%
70歳以上	68	52.3%	24	18.5%	12	9.2%	16	12.3%	1	0.8%	1	0.8%	8	6.2%	130	100%
総数	262	30.8%	270	31.8%	152	17.9%	93	10.9%	30	3.5%	9	1.1%	34	4.0%	850	100%

「同居する全員ととることが多い」「同居する人のうち何人かととることが多い」あわせて62.6%となりました。
 年齢別でみると、「一人でとることが多い」割合は、50代(28.9%)が最も多く、続いて20代(21.6%)となりました。「一人でとる」割合は、20代(25.0%)が最も多く、続いて70歳以上(12.3%)となりました。

4. あなたは夕食をどのようにとりますか。

	同居する全員ととることが多い		同居する人のうち何人かととることが多い		一人でとることが多い		一人でとる		とらない		その他		無回答		合計	
男性	181	45.7%	104	26.3%	75	18.9%	25	6.3%	1	0.3%	3	0.8%	7	1.8%	396	100%
女性	178	40.4%	196	44.4%	27	6.1%	22	5.0%	2	0.5%	4	0.9%	12	2.7%	441	100%
20歳代	27	30.7%	30	34.1%	16	18.2%	9	10.2%	2	2.3%	3	3.4%	1	1.1%	88	100%
30歳代	68	43.0%	58	36.7%	22	13.9%	7	4.4%	1	0.6%	1	0.6%	1	0.6%	158	100%
40歳代	57	35.0%	67	41.1%	29	17.8%	6	3.7%	0	0.0%	1	0.6%	3	1.8%	163	100%
50歳代	34	28.1%	65	53.7%	17	14.0%	5	4.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	121	100%
60歳代	105	56.5%	55	29.6%	12	6.5%	10	5.4%	0	0.0%	0	0.0%	4	2.2%	186	100%
70歳以上	72	55.4%	26	20.0%	8	6.2%	12	9.2%	0	0.0%	2	1.5%	10	7.7%	130	100%
総数	365	42.9%	302	35.5%	105	12.4%	49	5.8%	3	0.4%	7	0.8%	19	2.2%	850	100%

「同居する全員ととることが多い」「同居する人のうち何人かととることが多い」あわせて78.4%となりました。朝食に比べ、夕食のほうが同居者ととる割合が高くなっています。
 年齢別でみると、「一人でとることが多い」割合は、20代(18.2%)が最も高く、続いて40代(17.8%)となりました。「一人でとる」割合は、20代(10.2%)が最も高く、続いて70歳以上(9.2%)となりました。

【食行動】

5. あなたは、栄養のバランスを考えて食事をとっていますか。

	考えて 食べている		少しは 考えて 食べている		考えない		無回答		合計	
男性	120	30.3%	222	56.1%	48	12.1%	6	1.5%	396	100%
女性	219	49.5%	204	46.2%	10	2.3%	9	2.0%	442	100%
20歳代	22	25.0%	50	56.8%	16	18.2%	0	0.0%	88	100%
30歳代	56	35.4%	90	57.0%	12	7.6%	0	0.0%	158	100%
40歳代	56	34.4%	92	56.4%	11	6.7%	4	2.5%	163	100%
50歳代	49	40.5%	65	53.7%	7	5.8%	0	0.0%	121	100%
60歳代	90	48.4%	84	45.2%	9	4.8%	3	1.6%	186	100%
70歳以上	68	51.9%	51	38.9%	4	3.1%	8	6.1%	131	100%
総数	343	40.3%	432	50.8%	60	7.1%	16	1.9%	851	100%

「少しは考えて食べている」割合（50.8%）が最も多く、続いて「考えて食べている」（40.3%）となり、あわせて91.1%となりました。
 男女別では女性のほうが、「考えて食べている」割合が高く、男性のほうが「考えない」割合が高くなっています。
 年齢別では、年齢が低くなるほど「考えない」割合が高くなっています。

6. あなたは、毎日の食事で自分の健康のために気をつけていることは何ですか。

(あてはまるものすべてに)

()内は有効回答数	米飯を中心とした食事に行っている	野菜をたくさんとるようにしている	魚や大豆製品の頻度を多くしている	油の多いものは控えるようにしている	塩分をとりすぎないように、薄味にしている	甘いものの食べ過ぎに気をつけている	お酒を飲まない日を週2日以上設けている	アルコールの飲みすぎに注意している	よく噛んで食べている	3食規則正しく食べている	何も気をつけていない	その他	無回答
男性(396)	49.5%	64.4%	49.0%	33.1%	30.3%	26.0%	12.4%	21.7%	18.9%	33.8%	4.5%	1.3%	1.5%
女性(442)	52.5%	82.8%	51.1%	44.8%	43.4%	36.9%	10.0%	9.3%	26.7%	44.3%	1.8%	0.9%	0.9%
20歳代(88)	39.8%	70.5%	26.1%	28.4%	20.5%	20.5%	19.3%	15.9%	20.5%	13.6%	5.7%	1.1%	1.1%
30歳代(158)	44.3%	72.2%	40.5%	29.7%	25.3%	24.1%	9.5%	12.0%	15.8%	33.5%	5.7%	1.3%	0.0%
40歳代(163)	42.9%	71.8%	41.1%	36.2%	27.0%	29.4%	9.8%	12.3%	18.4%	35.0%	3.7%	0.0%	1.8%
50歳代(121)	51.2%	81.0%	55.4%	50.4%	38.0%	32.2%	12.4%	14.9%	27.3%	37.2%	1.7%	1.7%	0.0%
60歳代(186)	55.9%	76.9%	62.9%	46.2%	53.8%	39.2%	8.1%	20.4%	25.3%	50.0%	2.7%	1.6%	1.1%
70歳以上(131)	68.7%	70.2%	64.1%	42.0%	51.1%	39.7%	12.2%	14.5%	31.3%	55.7%	0.8%	1.5%	3.1%
総数(851)	50.9%	73.9%	49.8%	39.4%	37.3%	31.5%	11.0%	15.2%	22.9%	39.2%	3.4%	1.2%	1.2%

「野菜をたくさんとるようにしている」割合が(73.9%)最も高くなりました。
 男女別でみると、「お酒を飲まない日を週2日以上設けている」「アルコールの飲みすぎに注意している」「何も気をつけていない」割合は男性のほうが高く、それ以外は女性のほうが高くなっています。
 年齢別でみると、年齢が低くなるほど「何も気をつけていない」割合が高くなり、70歳以上は5項目について、気をつけている割合が最も高くなっています。

7. 朝食、昼食、夕食それぞれの食事で野菜はどのくらい食べますか。「普通に食べる」というのは、100g程度(刻んだ生野菜を両手1杯か茹でた野菜を片手1杯程度)です。

朝食

	たっぷり食べる		普通に食べる		少しは食べる		食べない		無回答		合計	
男性	13	3.3%	130	32.8%	128	32.3%	95	24.0%	30	7.6%	396	100%
女性	28	6.3%	147	33.3%	157	35.6%	71	16.1%	38	8.6%	441	100%
20歳代	3	3.4%	14	15.9%	29	33.0%	36	40.9%	6	6.8%	88	100%
30歳代	4	2.5%	37	23.4%	56	35.4%	50	31.6%	11	7.0%	158	100%
40歳代	6	3.7%	37	22.7%	67	41.1%	43	26.4%	10	6.1%	163	100%
50歳代	6	5.0%	38	31.4%	48	39.7%	24	19.8%	5	4.1%	121	100%
60歳代	11	5.9%	88	47.3%	57	30.6%	13	7.0%	17	9.1%	186	100%
70歳以上	11	8.5%	67	51.5%	31	23.8%	2	1.5%	19	14.6%	130	100%
総数	41	4.8%	283	33.3%	288	33.9%	169	19.9%	69	8.1%	850	100%

昼食

	たっぷり食べる		普通に食べる		少しは食べる		食べない		無回答		合計	
男性	12	3.0%	170	42.9%	149	37.6%	36	9.1%	29	7.3%	396	100%
女性	28	6.3%	198	44.8%	142	32.1%	29	6.6%	45	10.2%	442	100%
20歳代	6	6.8%	34	38.6%	31	35.2%	11	12.5%	6	6.8%	88	100%
30歳代	8	5.1%	62	39.2%	63	39.9%	14	8.9%	11	7.0%	158	100%
40歳代	7	4.3%	70	42.9%	63	38.7%	15	9.2%	8	4.9%	163	100%
50歳代	3	2.5%	50	41.3%	56	46.3%	9	7.4%	3	2.5%	121	100%
60歳代	6	3.2%	95	51.1%	54	29.0%	13	7.0%	18	9.7%	186	100%
70歳以上	11	8.4%	60	45.8%	27	20.6%	4	3.1%	29	22.1%	131	100%
総数	41	4.8%	373	43.8%	294	34.5%	67	7.9%	76	8.9%	851	100%

夕食

	たっぷり食べる		普通に食べる		少しは食べる		食べない		無回答		合計	
男性	58	14.6%	243	61.4%	65	16.4%	5	1.3%	25	6.3%	396	100%
女性	122	27.6%	244	55.2%	34	7.7%	1	0.2%	41	9.3%	442	100%
20歳代	23	26.1%	41	46.6%	16	18.2%	2	2.3%	6	6.8%	88	100%
30歳代	38	24.1%	95	60.1%	15	9.5%	1	0.6%	9	5.7%	158	100%
40歳代	33	20.2%	97	59.5%	25	15.3%	0	0.0%	8	4.9%	163	100%
50歳代	27	22.3%	71	58.7%	21	17.4%	0	0.0%	2	1.7%	121	100%
60歳代	38	20.4%	115	61.8%	16	8.6%	3	1.6%	14	7.5%	186	100%
70歳以上	21	16.0%	73	55.7%	9	6.9%	0	0.0%	28	21.4%	131	100%
総数	180	21.2%	495	58.2%	102	12.0%	6	0.7%	68	8.0%	851	100%

「たっぷり食べる」「普通に食べる」を合わせた割合は、夕食が最も高く79.4%となりました。続いて、昼食(48.6%)、朝食(38.1%)となりました。「食べない」割合は、朝食が最も高く19.9%となりました。続いて、昼食(7.9%)、夕食(0.7%)となりました。

男女別でみると、女性のほうが「たっぷり食べる」割合が高く、男性のほうが「食べない」割合が高くなりました。

年齢別でみると、年齢が高くなるほど朝食の野菜を「たっぷり食べる」「普通に食べる」を合わせた割合が高くなりました。また、年齢が低くなるほど野菜を「食べない」割合が高くなる傾向があります。20代で朝食の野菜を「食べない」割合は40.9%です。

8. あなたは、どこから購入した野菜を食べていますか。

(頻度の高いもの3つまでに)

()内は有効回答数	スーパーマーケット	青果店	農産物直売所	(生協など) 宅配	自家菜園	インターネット販売	その他	無回答
男性(396)	84.6%	16.2%	22.7%	11.4%	32.3%	0.0%	1.3%	4.8%
女性(440)	80.9%	17.5%	27.7%	13.9%	30.7%	0.2%	3.4%	6.6%
20歳代(88)	87.5%	17.0%	14.8%	8.0%	21.6%	1.1%	3.4%	4.5%
30歳代(157)	90.4%	11.5%	20.4%	14.0%	27.4%	0.0%	0.6%	5.1%
40歳代(162)	88.9%	22.8%	28.4%	17.9%	25.3%	0.0%	3.7%	4.9%
50歳代(121)	88.4%	16.5%	26.4%	13.2%	28.9%	0.0%	1.7%	2.5%
60歳代(186)	79.0%	15.6%	31.7%	11.8%	43.5%	0.0%	1.6%	5.9%
70歳以上(131)	61.8%	16.8%	26.0%	7.6%	35.1%	0.0%	3.8%	10.7%
総数(849)	82.6%	16.6%	25.4%	12.5%	31.2%	0.1%	2.4%	5.8%

「スーパーマーケット」の割合が最も高く(82.6%)、続いて自家菜園(31.2%)、農産物直売所(25.4%)、青果店(16.6%)、宅配(12.5%)となりました。

男女別では、大きな差はありませんでした。

年齢別でみると、60代、70歳以上を除く各世代で「スーパーマーケット」の割合は85%を超えています。「自家菜園」は60代(43.5%)、70歳以上(35.1%)の割合が高くなりました。

9. あなたは、食事としてスーパーやコンビニで惣菜や弁当類、調理済みのパンなどをどれくらいの頻度で食べますか。

	ほとんど毎日		週に4～6回		週に1～3回		ほとんど食べない		無回答		合計	
男性	23	5.8%	36	9.1%	175	44.2%	138	34.8%	24	6.1%	396	100%
女性	4	0.9%	24	5.4%	194	43.9%	187	42.3%	33	7.5%	442	100%
20歳代	6	6.8%	13	14.8%	49	55.7%	19	21.6%	1	1.1%	88	100%
30歳代	10	6.3%	12	7.6%	77	48.7%	51	32.3%	8	5.1%	158	100%
40歳代	4	2.5%	20	12.3%	76	46.6%	50	30.7%	13	8.0%	163	100%
50歳代	1	0.8%	5	4.1%	57	47.1%	54	44.6%	4	3.3%	121	100%
60歳代	5	2.7%	4	2.2%	72	38.7%	93	50.0%	12	6.5%	186	100%
70歳以上	2	1.5%	7	5.3%	41	31.3%	61	46.6%	20	15.3%	131	100%
総数	28	3.3%	62	7.3%	374	43.9%	329	38.7%	58	6.8%	851	100%

「ほとんど毎日」「週に4～6回」「週に1～3回」を合わせて、54.5%となりました。「週に1～3回食べる」割合(43.9%)が多く、続いて「ほとんど食べない」(38.7%)となりました。
 男女別では、「ほとんど食べない」割合は、女性のほうが高く、男性34.8%に対し、女性42.3%でした。「ほとんど毎日食べる」割合は、男性のほうが高く、女性0.9%に対し、男性5.8%でした。
 年齢別では、「ほとんど毎日食べる」割合は、20代(6.8%)30代(6.3%)が高く、「ほとんど食べない」割合は、60代(50.0%)、70歳以上(46.6%)が高くなりました。

10. あなたは、出前を含めた外食をどれくらいの頻度で食べますか。

	ほとんど毎日		週に4～6回		週に1～3回		ほとんど食べない		無回答		合計	
男性	12	3.0%	27	6.8%	128	32.3%	206	52.0%	23	5.8%	396	100%
女性	3	0.7%	5	1.1%	131	29.7%	267	60.5%	35	7.9%	441	100%
20歳代	5	5.7%	4	4.5%	45	51.1%	33	37.5%	1	1.1%	88	100%
30歳代	3	1.9%	7	4.4%	68	43.0%	71	44.9%	9	5.7%	158	100%
40歳代	3	1.8%	10	6.1%	58	35.6%	78	47.9%	14	8.6%	163	100%
50歳代	3	2.5%	6	5.0%	29	24.0%	79	65.3%	4	3.3%	121	100%
60歳代	1	0.5%	5	2.7%	46	24.9%	123	66.5%	10	5.4%	185	100%
70歳以上	0	0.0%	0	0.0%	15	11.5%	95	72.5%	21	16.0%	131	100%
総数	15	1.8%	32	3.8%	261	30.7%	483	56.8%	59	6.9%	850	100%

「ほとんど毎日」「週に4～6回」「週に1～3回」をあわせて、36.3%となりました。「ほとんど食べない」割合(56.8%)が最も多く、続いて「週に1～3回食べる」(30.7%)となりました。
 男女別では「ほとんど食べない」割合は、女性のほうが高く、男性52.0%に対し、60.5%となりました。「ほとんど毎日食べる」割合は、男性のほうが高く、女性0.7%に対し、男性3.0%でした。
 年齢別では、「ほとんど毎日食べる」割合は、20代(5.7%)が高く、「ほとんど食べない」割合は、70歳以上(72.5%)が高くなりました。出前を含めた外食の利用よりも、スーパーやコンビニなどの惣菜、弁当類等の利用が高くなっています。

【食育への関心】

11. あなたは、「食育」に関心がありますか。

	関心がある		どちらかといえば関心がある		どちらかといえば関心がない		関心がない		わからない		無回答		合計	
男性	130	32.9%	147	37.2%	53	13.4%	18	4.6%	24	6.1%	23	5.8%	395	100%
女性	197	44.6%	176	39.8%	24	5.4%	4	0.9%	9	2.0%	32	7.2%	442	100%
20歳代	28	31.8%	29	33.0%	18	20.5%	3	3.4%	9	10.2%	1	1.1%	88	100%
30歳代	49	31.0%	77	48.7%	14	8.9%	4	2.5%	7	4.4%	7	4.4%	158	100%
40歳代	54	33.3%	67	41.4%	17	10.5%	3	1.9%	8	4.9%	13	8.0%	162	100%
50歳代	48	39.7%	49	40.5%	12	9.9%	3	2.5%	4	3.3%	5	4.1%	121	100%
60歳代	82	44.1%	74	39.8%	13	7.0%	5	2.7%	1	0.5%	11	5.9%	186	100%
70歳以上	68	51.9%	31	23.7%	5	3.8%	4	3.1%	4	3.1%	19	14.5%	131	100%
総数	331	38.9%	329	38.7%	79	9.3%	22	2.6%	33	3.9%	56	6.6%	850	100%

「関心がある」「どちらかといえば関心がある」を合わせると77.6%になりました。
 内閣府の調査(H19)によると、全国における同様の調査では69.5%、また、県の同様の調査(H19)では、81.4%となっています。
 男女別では、女性のほうが「関心がある」割合が高く、男性のほうが「関心がない」割合が高くなりました。
 年齢別に見ると年代が高くなるほど「関心がある」割合が高くなっています。

12. あなたは、「食育」は、どの世代を中心に進めると良いとお考えですか。(3つ選んで)

()内は有効回答数	未就園児	幼稚園・保育園児	小学生	中学生	高校生	学生(大学生等)	妊婦	子育て中の親	20~39歳	40~64歳	65歳以上	無回答
男性(281)	14.6%	48.0%	65.1%	36.7%	14.9%	3.6%	11.0%	39.9%	13.5%	8.5%	6.8%	12.5%
女性(315)	23.5%	38.7%	55.2%	24.1%	11.4%	5.7%	25.1%	53.3%	10.5%	8.3%	10.8%	11.1%
20歳代(72)	22.2%	55.6%	56.9%	25.0%	12.5%	13.9%	25.0%	45.8%	19.4%	6.9%	4.2%	4.2%
30歳代(110)	23.6%	51.8%	80.0%	37.3%	10.0%	1.8%	16.4%	48.2%	10.9%	4.5%	4.5%	3.6%
40歳代(125)	16.0%	46.4%	71.2%	32.8%	18.4%	6.4%	15.2%	51.2%	13.6%	9.6%	2.4%	5.6%
50歳代(81)	16.0%	29.6%	53.1%	34.6%	21.0%	2.5%	21.0%	56.8%	13.6%	11.1%	7.4%	11.1%
60歳代(126)	18.3%	37.3%	40.5%	29.4%	11.1%	3.2%	19.8%	48.4%	6.3%	12.7%	13.5%	19.8%
70歳以上(88)	20.5%	37.5%	53.4%	15.9%	4.5%	2.3%	17.0%	28.4%	12.5%	4.5%	21.6%	27.3%
総数(604)	19.2%	43.0%	59.6%	30.0%	13.1%	4.6%	18.5%	46.9%	12.1%	8.4%	8.8%	11.9%

「小学生」が最も高く59.6%、続いて「子育て中の親」が46.9%、「幼稚園・保育園児」が43.0%、「中学生」が30.0%となりました。

13. あなたは、食の情報や知識を得るために、インターネットを利用しますか。

	利用する	利用しない	操作方法がわからない	利用する環境にない	無回答	合計
男性	80 20.3%	254 64.3%	15 3.8%	28 7.1%	18 4.6%	395 100%
女性	98 22.2%	264 59.9%	26 5.9%	23 5.2%	30 6.8%	441 100%
20歳代	23 26.1%	57 64.8%	2 2.3%	3 3.4%	3 3.4%	88 100%
30歳代	45 28.5%	95 60.1%	2 1.3%	9 5.7%	7 4.4%	158 100%
40歳代	48 29.4%	95 58.3%	5 3.1%	7 4.3%	8 4.9%	163 100%
50歳代	34 28.1%	75 62.0%	4 3.3%	5 4.1%	3 2.5%	121 100%
60歳代	17 9.1%	128 68.8%	16 8.6%	16 8.6%	9 4.8%	186 100%
70歳以上	13 10.1%	74 57.4%	12 9.3%	12 9.3%	18 14.0%	129 100%
総数	180 21.2%	526 62.0%	41 4.8%	53 6.2%	49 5.8%	849 100%

「利用しない」割合が最も高く、62.0%となりました。続いて「利用する」割合は21.2%となりました。
 男女別でみると大きな差はありませんでした。
 年齢別でみると、「利用する」割合は、20～50代で25%以上となり、60代、70歳以上は10%前後となりました。「操作方法がわからない」「利用する環境にない」と回答した人の割合は、60代、70歳以上で高くなっています。

14. あなたは、「食事バランスガイド」を知っていましたか。

	知っていた	知らなかった	無回答	合計
男性	126 31.8%	247 62.4%	23 5.8%	396 100%
女性	271 61.3%	136 30.8%	35 7.9%	442 100%
20歳代	49 55.7%	34 38.6%	5 5.7%	88 100%
30歳代	91 57.6%	60 38.0%	7 4.4%	158 100%
40歳代	78 47.9%	76 46.6%	9 5.5%	163 100%
50歳代	54 44.6%	64 52.9%	3 2.5%	121 100%
60歳代	79 42.5%	93 50.0%	14 7.5%	186 100%
70歳以上	50 38.2%	61 46.6%	20 15.3%	131 100%
総数	402 47.2%	390 45.8%	59 6.9%	851 100%

「知っていた」割合は、47.2%、「知らなかった」割合は、45.8%となりました。
 男女別では、「知っていた」割合は女性のほうが高く、男性31.8%に対し、女性61.3%でした。
 年齢別では、「知っていた」割合は30代が最も高く、続いて20代となりました。年齢が高くなるほど割合は低くなっています。
 県の調査（H19）では、「言葉も内容も知っていた」「言葉は知っていたが、内容は知らなかった」をあわせて53.5%となり、小田原市の「知っていた」割合（47.2%）のほうが低くなりました。

【食の安心・安全】

15. あなたは、自分は食品の安全性に関する知識(たとえば、どのような食品を選んだ方が
良いか、どのような調理が必要かなど)があると思いますか。

	十分ある と思う	ある程度 あると 思う	あまりな いと思う	全くない と思う	わからない	無回答	合計
男性	33 8.3%	183 46.2%	132 33.3%	16 4.0%	14 3.5%	18 4.5%	396 100%
女性	52 11.8%	265 60.1%	80 18.1%	3 0.7%	6 1.4%	35 7.9%	441 100%
20歳代	8 9.1%	36 40.9%	31 35.2%	3 3.4%	7 8.0%	3 3.4%	88 100%
30歳代	14 8.9%	73 46.5%	55 35.0%	4 2.5%	2 1.3%	9 5.7%	157 100%
40歳代	9 5.5%	78 47.9%	59 36.2%	7 4.3%	2 1.2%	8 4.9%	163 100%
50歳代	8 6.6%	74 61.2%	27 22.3%	4 3.3%	4 3.3%	4 3.3%	121 100%
60歳代	27 14.5%	117 62.9%	29 15.6%	1 0.5%	2 1.1%	10 5.4%	186 100%
70歳以上	19 14.5%	75 57.3%	15 11.5%	0 0.0%	3 2.3%	19 14.5%	131 100%
総数	85 10.0%	454 53.4%	218 25.6%	19 2.2%	20 2.4%	54 6.4%	850 100%

「十分あると思う」「ある程度あると思う」を合わせて、63.4%となりました。県の同様の調査(H19)では、69.7%となっています。

男女別では、女性のほうが「十分あると思う」「ある程度あると思う」割合は高くなりました。

年齢別では、「あまりないと思う」「全くないと思う」を合わせた割合は、40代が最も高く、続いて20代、30代となりました。

16. あなたは、食品の安全性について、不安に感じることはありますか。

	不安を 感じる	不安を 感じない	無回答	合計
男性	249 62.9%	122 30.8%	25 6.3%	396 100%
女性	357 80.8%	47 10.6%	38 8.6%	442 100%
20歳代	62 70.5%	25 28.4%	1 1.1%	88 100%
30歳代	123 77.8%	27 17.1%	8 5.1%	158 100%
40歳代	131 80.4%	19 11.7%	13 8.0%	163 100%
50歳代	93 76.9%	23 19.0%	5 4.1%	121 100%
60歳代	132 71.0%	43 23.1%	11 5.9%	186 100%
70歳以上	72 55.0%	33 25.2%	26 19.8%	131 100%
総数	614 72.2%	173 20.3%	64 7.5%	851 100%

「不安を感じる」割合は72.2%となりました。県の同様の調査(H19)では、90.1%となっています。男女別では、女性のほうが「不安を感じる」割合が高くなりました。

県の調査(H19)は、「あなたは、食品について、不安に感じることはありますか」という質問です。

17. 16で不安を感じると答えたかたに伺います。もっとも不安なことは何ですか。

	食中毒の発生	BSEや鳥インフルなどの家畜や家きん(鶏などの食用の鳥)の病気の発生	輸入食品の安全性	食品に残った農薬や化学物質などが健康に害をもたらすのではないかな不安	食品添加物が健康に害をもたらすのではないかな不安	い技術により作られた食品が健康に害をもたらすのではないかな不安	遣伝子組み換え食品など、新しい技術により作られた食品が健康に害をもたらすのではないかな不安	その他	無回答	合計
男性	19 10.3%	7 3.8%	81 43.8%	31 16.8%	30 16.2%	9 4.9%	0 0.0%	8 4.3%	185 100%	
女性	20 8.0%	15 6.0%	103 41.2%	40 16.0%	43 17.2%	11 4.4%	2 0.8%	16 6.4%	250 100%	
20歳代	6 13.6%	1 2.3%	20 45.5%	9 20.5%	3 6.8%	4 9.1%	0 0.0%	1 2.3%	44 100%	
30歳代	9 10.3%	8 9.2%	39 44.8%	17 19.5%	8 9.2%	4 4.6%	1 1.1%	1 1.1%	87 100%	
40歳代	9 10.0%	6 6.7%	39 43.3%	14 15.6%	11 12.2%	2 2.2%	0 0.0%	9 10.0%	90 100%	
50歳代	2 3.3%	4 6.6%	23 37.7%	10 16.4%	18 29.5%	2 3.3%	0 0.0%	2 3.3%	61 100%	
60歳代	6 5.8%	2 1.9%	45 43.3%	15 14.4%	23 22.1%	6 5.8%	1 1.0%	6 5.8%	104 100%	
70歳以上	7 13.5%	1 1.9%	20 38.5%	6 11.5%	11 21.2%	2 3.8%	0 0.0%	5 9.6%	52 100%	
総数	39 8.9%	22 5.0%	186 42.5%	71 16.2%	74 16.9%	20 4.6%	2 0.5%	24 5.5%	438 100%	

「輸入食品の安全性」の回答割合が高く42.5%となりました。
 県の同様の調査(H19)では、30.6%となっています。続いて「食品添加物」(16.9%)「農薬や化学物質」(16.2%)となりました。
 男女別でも同様の傾向となりました。

18. あなたは、食品を購入するときに、食品表示(添加物、原材料、賞味期限、製造元など)を見て買いますか。

	必ず見る	時々見る	あまり見ない	ほとんど見ない	無回答	合計
男性	116 29.3%	171 43.2%	60 15.2%	23 5.8%	26 6.6%	396 100%
女性	220 49.8%	154 34.8%	28 6.3%	2 0.5%	38 8.6%	442 100%
20歳代	38 43.2%	28 31.8%	11 12.5%	8 9.1%	3 3.4%	88 100%
30歳代	61 38.6%	69 43.7%	16 10.1%	3 1.9%	9 5.7%	158 100%
40歳代	58 35.6%	69 42.3%	17 10.4%	3 1.8%	16 9.8%	163 100%
50歳代	41 33.9%	54 44.6%	16 13.2%	4 3.3%	6 5.0%	121 100%
60歳代	84 45.2%	67 36.0%	18 9.7%	4 2.2%	13 7.0%	186 100%
70歳以上	56 42.7%	43 32.8%	10 7.6%	3 2.3%	19 14.5%	131 100%
総数	339 39.8%	330 38.8%	91 10.7%	25 2.9%	66 7.8%	851 100%

「必ず見る」「時々見る」を合わせた割合は、78.6%でした。「あまり見ない」「ほとんど見ない」を合わせた割合(13.6%)を大きく上回っています。
 男女別では、「必ず見る」割合は女性のほうが高く、男性29.3%に対し、女性は49.8%となりました。
 年齢別では大きな差はありませんでしたが、「必ず見る」と答えた割合は、60代の45.2%が最も高く、次いで20代の43.2%、70歳以上の42.7%でした。

【食を大切にする心】

19. あなたは、食事の際に「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしていますか。

	必ずしている	だいたいしている	時々している	あまりしていない	全くしていない	無回答	合計
男性	116 29.3%	118 29.8%	57 14.4%	54 13.6%	27 6.8%	24 6.1%	396 100%
女性	226 51.1%	116 26.2%	45 10.2%	14 3.2%	9 2.0%	32 7.2%	442 100%
20歳代	41 46.6%	21 23.9%	15 17.0%	5 5.7%	5 5.7%	1 1.1%	88 100%
30歳代	85 53.8%	49 31.0%	10 6.3%	3 1.9%	4 2.5%	7 4.4%	158 100%
40歳代	74 45.4%	48 29.4%	14 8.6%	12 7.4%	2 1.2%	13 8.0%	163 100%
50歳代	36 29.8%	42 34.7%	14 11.6%	13 10.7%	12 9.9%	4 3.3%	121 100%
60歳代	54 29.0%	46 24.7%	37 19.9%	28 15.1%	11 5.9%	10 5.4%	186 100%
70歳以上	55 42.0%	30 22.9%	13 9.9%	9 6.9%	2 1.5%	22 16.8%	131 100%
総数	346 40.7%	236 27.7%	104 12.2%	71 8.3%	37 4.3%	57 6.7%	851 100%

「必ずしている」「だいたいしている」「時々している」をあわせた割合は、80.6%となりました。「必ずしている」割合(40.7%)が最も高く、続いて「だいたいしている」「時々している」「あまりしていない」「全くしていない」となりました。

男女別では、「必ずしている」割合は、女性のほうが高く、男性29.3%に対し、51.1%でした。男性は、「だいたいしている」割合が、「必ずしている」よりやや高くなりました。

年齢別では、「必ずしている」割合は30代が最も高く(53.8%)、50代、60代を除く各世代で40%を超えています。「全くしていない」割合は50代(9.9%)が高く、続いて、60代、20代、30代、70歳以上、40代の順になりました。

20. あなたは、食品産業や家庭において食べ残しや食品の廃棄が発生していることに関して、日ごろから「もったいない」と感じることはありませんか。

	いつも感じている	時々感じている	あまり感じていない	全く感じない	無回答	合計
男性	219 55.3%	136 34.3%	15 3.8%	0 0.0%	26 6.6%	396 100%
女性	270 61.1%	133 30.1%	8 1.8%	0 0.0%	31 7.0%	442 100%
20歳代	43 48.9%	40 45.5%	3 3.4%	0 0.0%	2 2.3%	88 100%
30歳代	89 56.3%	58 36.7%	4 2.5%	0 0.0%	7 4.4%	158 100%
40歳代	90 55.2%	54 33.1%	6 3.7%	0 0.0%	13 8.0%	163 100%
50歳代	82 67.8%	31 25.6%	4 3.3%	0 0.0%	4 3.3%	121 100%
60歳代	113 60.8%	60 32.3%	3 1.6%	0 0.0%	10 5.4%	186 100%
70歳以上	75 57.3%	31 23.7%	3 2.3%	0 0.0%	22 16.8%	131 100%
総数	496 58.3%	274 32.2%	23 2.7%	0 0.0%	58 6.8%	851 100%

「いつも感じている」割合(58.3%)が最も多く、続いて「時々感じている」(32.2%)となり、あわせて90.5%となりました。「全く感じない」は0%でした。

男女別では「いつも感じている」割合は、女性のほうがやや高く、男性55.3%に対し、女性61.1%でした。

年齢別では「いつも感じている」割合は、50代が最も高く(67.8%)、20代を除く各世代で50%を超えています。

【生活習慣】

21. あなたはメタボリックシンドロームについて関心がありますか。

	関心がある	どちらかといえば関心がある	どちらかといえば関心がない	関心がない	わからない	無回答	合計
男性	183 46.2%	128 32.3%	41 10.4%	36 9.1%	4 1.0%	4 1.0%	396 100%
女性	209 47.3%	161 36.4%	43 9.7%	20 4.5%	6 1.4%	3 0.7%	442 100%
20歳代	32 36.4%	25 28.4%	19 21.6%	9 10.2%	2 2.3%	1 1.1%	88 100%
30歳代	45 28.5%	80 50.6%	18 11.4%	14 8.9%	1 0.6%	0 0.0%	158 100%
40歳代	75 46.0%	62 38.0%	19 11.7%	5 3.1%	0 0.0%	2 1.2%	163 100%
50歳代	63 52.1%	43 35.5%	9 7.4%	6 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	121 100%
60歳代	101 54.3%	56 30.1%	13 7.0%	12 6.5%	2 1.1%	2 1.1%	186 100%
70歳以上	79 60.3%	25 19.1%	9 6.9%	11 8.4%	5 3.8%	2 1.5%	131 100%
総数	397 46.7%	291 34.2%	88 10.3%	57 6.7%	10 1.2%	8 0.9%	851 100%

「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」合わせて、80.9%となりました。男女別では、女性がやや高くなりました。年齢別では、70歳以上で「関心がある」割合が最も高く（60.3%）、続いて、60代（54.3%）、50代（52.1%）40代（46.0%）となりました。

22. あなたは、自分は健康だと感じていますか。

	健康である	まあまあ健康である	どちらともいえない	あまり健康ではない	健康ではない	無回答	合計
男性	94 23.7%	207 52.3%	48 12.1%	35 8.8%	7 1.8%	5 1.3%	396 100%
女性	90 20.4%	250 56.6%	73 16.5%	26 5.9%	2 0.5%	1 0.2%	442 100%
20歳代	23 26.1%	45 51.1%	10 11.4%	7 8.0%	2 2.3%	1 1.1%	88 100%
30歳代	30 19.0%	87 55.1%	26 16.5%	15 9.5%	0 0.0%	0 0.0%	158 100%
40歳代	28 17.2%	94 57.7%	22 13.5%	16 9.8%	3 1.8%	0 0.0%	163 100%
50歳代	22 18.2%	69 57.0%	19 15.7%	9 7.4%	2 1.7%	0 0.0%	121 100%
60歳代	36 19.4%	105 56.5%	34 18.3%	7 3.8%	1 0.5%	3 1.6%	186 100%
70歳以上	46 35.1%	63 48.1%	11 8.4%	8 6.1%	1 0.8%	2 1.5%	131 100%
総数	186 21.9%	463 54.4%	124 14.6%	62 7.3%	9 1.1%	7 0.8%	851 100%

「健康である」、「まあまあ健康である」合わせて、76.3%となり、「あまり健康ではない」「健康ではない」合わせて、8.4%となりました。
男女別では、「あまり健康ではない」「健康ではない」合わせた割合は男性のほうが高く（10.6%）となりました。
年齢別では、70歳以上で「健康である」割合が最も高く（35.1%）、続いて20代（26.1%）となりました。すべての年代で約50～60%の人が「まあまあ健康である」と回答しています。

23. あなたは、歯周病(歯が痛んだり、しんだり、歯磨きをすると血が出ることなど)がありますか。

	ある	時々ある	ない	無回答	合計
男性	63 15.9%	139 35.1%	188 47.5%	6 1.5%	396 100%
女性	50 11.3%	138 31.2%	240 54.3%	14 3.2%	442 100%
20歳代	8 9.1%	37 42.0%	43 48.9%	0 0.0%	88 100%
30歳代	13 8.2%	61 38.6%	83 52.5%	1 0.6%	158 100%
40歳代	18 11.0%	64 39.3%	76 46.6%	5 3.1%	163 100%
50歳代	23 19.0%	45 37.2%	53 43.8%	0 0.0%	121 100%
60歳代	34 18.3%	47 25.3%	100 53.8%	5 2.7%	186 100%
70歳以上	19 14.5%	26 19.8%	77 58.8%	9 6.9%	131 100%
総数	116 13.6%	282 33.1%	433 50.9%	20 2.4%	851 100%

「ある」「時々ある」を合わせて、46.7%となりました。
 男女別では、男性のほうが「ある」「時々ある」を合わせた割合はやや高く、女性は42.5%
 に対し、男性51%となりました。
 年齢別では、「ある」「時々ある」を合わせた割合は、50代が最も高く、続いて20代、40
 代となり、50%を超えています。